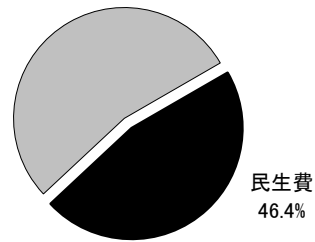


■一般会計に占める割合

第3款 民生費



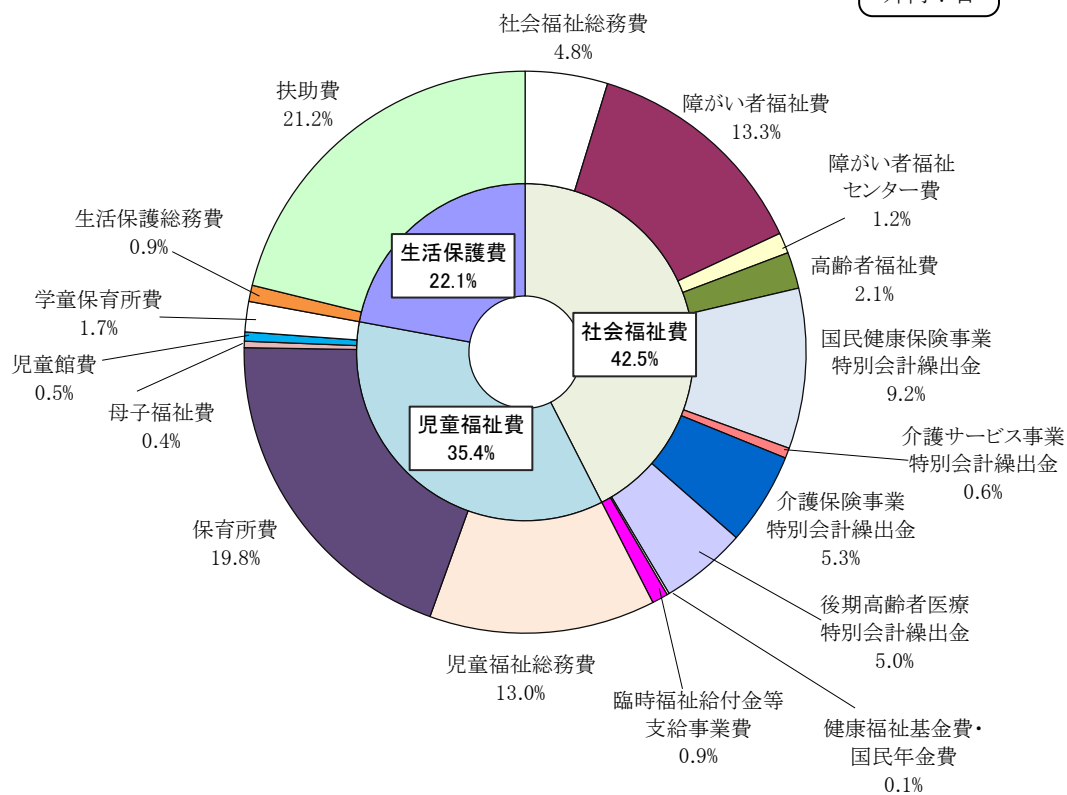
■予算額と財源構成

(単位 千円)

	予算額	国・都支出金	市債	その他	一般財源
平成27年度（補正後予算額）	32,185,531	15,178,356	0	1,338,650	15,668,525
当初予算額	31,525,543	14,667,710	0	1,338,650	15,519,183
補正予算額	659,988	510,646	0	0	149,342
平成26年度	31,055,039	14,178,436	116,700	1,438,605	15,321,298
増 △減	1,130,492	999,920	△116,700	△99,955	347,227

予算額項目別構成比

内円：項
外円：目



社会福祉費

1 地域ケアネットワーク推進事業の全市展開 《拡充》 671千円
 ＜地域ケアネットワーク推進事業費＞ (12,981千円)

平成27年2月に「地域ケアネットワーク・大沢」が設立され、市内全てのコミュニティ住区で地域ケアネットワークが展開されたことから、活動の更なる充実に向けて支援を行います。

27年度は、全市展開を記念する事業を実施し、地域ケアネットワーク相互の情報共有や交流の促進、活動の充実・発展を図ります。

〔補正予算（通年予算）の内訳〕

全市展開記念事業の実施	671千円	(671千円)
その他地域ケアネットワーク推進事業	-	(12,310千円)

－ コミュニティ創生 －
 － 健康長寿社会 －

【財源内訳】

都支出金	335千円	一般財源	336千円
------	-------	------	-------

■連雀・ケアネットワーク主催「連雀サロン」



事業名＜事項名＞及び事業概要	補正予算額 (通年予算額)
----------------	------------------

- 2 成年後見制度の利用促進に向けた取り組み 《拡充》 2,400千円
 ＜成年後見開始審判等請求関係費＞ (4,465千円)

成年後見制度の利用が必要であるにも関わらず、家庭裁判所へ申し立てを行う親族がない場合などにおいては、市長が家庭裁判所へ申し立てを行う「市長申立て」を実施しています。申立費用や選任された成年後見人等への報酬を負担することが困難な場合は、費用の助成を行っていますが、一層の利用促進を図るため、「本人申立て」や「4親等以内の親族申立て」についても、助成対象を拡充します。

－ セーフティーネット －

【財源内訳】

都 支 出 金	1,200千円	一 般 財 源	1,200千円
---------	---------	---------	---------

- 3 戦没者追悼式の拡充 《拡充》 216千円
 ＜戦没者追悼式事業費＞ (1,688千円)

終戦記念日に実施している「戦没者追悼式」について、平成27年度は、戦後70年の節目にあたることから、内容を拡充して実施します。

■戦没者追悼式（平成26年度）



4 三鷹市障がい福祉計画（第4期）の推進と障がい者差別解消に向けた取り組み

《拡充》 562千円

＜地域自立支援協議会関係費、障がい者差別解消関係費＞ (903千円)

平成26年度に策定した「三鷹市障がい福祉計画（第4期）」（計画期間：27年度から29年度まで）に基づき、障がい者地域自立支援協議会及び市内の関係機関等と連携し、障がい者（児）施策の一層の推進を図ります。

28年4月の障害者差別解消法の施行に向けて、差別的取扱いや合理的配慮の基本的な考え方や具体例などをとりまとめた「市職員対応要領」を策定するとともに、職員研修を実施します。

また、障がい者（児）の計画相談等における適切な支援を行うため、相談支援事業所を束ねる役目を担う「基幹相談支援センター（仮称）」の設置に向けた検討を進めます。

〔市職員対応要領の概要〕

- ・障がいを理由とする不当な差別的取扱い及び合理的配慮の基本的な考え方
- ・職員が遵守すべき服務規律の一環としての趣旨
- ・相談体制の整備
- ・職員への研修及び啓発

－ セーフティーネット －

5 中等度難聴児発達支援の実施

《新規》 548千円

＜中等度難聴児発達支援事業費＞ (548千円)

身体障害者手帳の認定基準に満たない中等度難聴児が、言語を獲得して生活能力やコミュニケーション能力を身につけられるよう、補聴器の購入費用を助成します。

〔助成要件〕

- ・市民税所得割額46万円以上の者が同一世帯にいない
- ・18歳未満の児童
- ・聴力が概ね30dB以上で、身体障害者手帳の交付対象外であること
- ・補聴器装着により言語の習得等に一定の効果が期待できると認められる場合

－ セーフティーネット －

【財源内訳】

都 支 出 金	274千円	一 般 財 源	274千円
---------	-------	---------	-------

事業名＜事項名＞及び事業概要	補正予算額 (通年予算額)
----------------	------------------

6 子ども発達支援センター（仮称）開設に向けた取り組み 《新規》 210千円
 ＜子ども発達支援センター（仮称）関係費＞ (210千円)

北野ハピネスセンター幼児部門が新川防災公園・多機能複合施設（仮称）に移転することを踏まえ、「子ども発達支援センター（仮称）」の開設に向けた検討を進めます。その中でも、総合保健センターとのワンストップサービス実現に向け、母子保健事業の経過観察事業と連携を図りながら、発達等に課題のある子どもの早期発見・早期療育につなげるための「早期発達支援システム」の構築に取り組めます。

また、市内幼稚園・保育園に在籍する発達に課題のある子どもを対象に、くるみ幼稚園との併用通園を試行的に実施し、移転後の本格実施に向けた評価・検証を行います。

〔関連歳入〕

児童発達支援給付費収入等 605千円

－ セーフティーネット －

7 認知症にやさしいまち三鷹の推進 《拡充》 192千円
 ＜認知症高齢者支援事業費＞ (719千円)

「認知症にやさしいまち三鷹」の推進の一環として、新たに三鷹駅前などで認知症に関する啓発のためのキャンペーンを実施します。また、認知症への理解を深めるため、介護に携わるヘルパーやケアマネジャー等を対象に、より実践的な研修を実施します。

〔補正予算（通年予算）の内訳〕

認知症啓発キャンペーンの実施	126千円	(126千円)
ヘルパー等への実践的な研修の実施	66千円	(66千円)
その他認知症高齢者支援事業	－	(527千円)

－ 健康長寿社会 －

【財源内訳】

都 支 出 金	48千円	一 般 財 源	144千円
---------	------	---------	-------

事業名＜事項名＞及び事業概要	補正予算額 (通年予算額)		
8 多職種の協働による医療と介護の連携に向けた取り組み 《新規》 110千円 ＜多職種連携推進事業費＞ (110千円)			
医療・介護・福祉などの協働による在宅医療の支援体制の構築に向けた取り組みとして、地域包括支援センターとの共催により研修会を実施するなど、更なる多職種の連携強化を図ります。			
〔事業概要〕			
・在宅医療に関する講演会、グループ討議 ・多職種による事例検討、パネルディスカッション など			
－ 健康長寿社会 －			
9 臨時福祉給付金、子育て世帯臨時特例給付金支給事業の実施 278,022千円 ＜目：臨時福祉給付金等支給事業費＞ (296,697千円)			
消費税率引き上げに伴う負担の影響を考慮した暫定的・臨時的な措置として、平成26年度に引き続き「臨時福祉給付金」、「子育て世帯臨時特例給付金」を支給します。			
なお、「子育て世帯臨時特例給付金」に係るシステム開発経費等の事務費については、支給開始時期を踏まえ、27年度の当初予算に計上しています。			
〔制度概要〕			
・臨時福祉給付金			
支給対象者 平成27年度分市民税（均等割）が課税されていない市民 （課税されている方の扶養親族や生活保護受給者は対象外）			
支給金額 支給対象者1人につき6千円			
・子育て世帯臨時特例給付金			
支給対象者 平成27年5月31日における平成27年6月分児童手当の受給者 （特例給付を除く）			
※市民税非課税世帯は臨時福祉給付金との併給可			
支給金額 対象児童1人につき3千円			
〔補正予算（通年予算）の内訳〕			
臨時福祉給付金支給事業費 159,120千円 (159,120千円)			
臨時福祉給付金支給事務費 57,834千円 (57,834千円)			
子育て世帯臨時特例給付金支給事業費 61,068千円 (61,068千円)			
子育て世帯臨時特例給付金支給事務費 - (18,675千円)			
－ セーフティーネット －			
【財源内訳】			
<table> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>278,022千円</td> </tr> </table>	国庫支出金	278,022千円	
国庫支出金	278,022千円		

事業名＜事項名＞及び事業概要	補正予算額 (通年予算額)
----------------	------------------

児童福祉費

1 子育て支援講座等の充実	《拡充》	51千円
＜子ども家庭支援センターすくすくひろば管理運営費、ファミリー・サポート・センター事業費、保育園地域開放事業費＞		(51千円)
平成26年度から試行的に開催した「プレママ・プレパパ散歩」及び「育メンスタート講座」について、27年度は回数・内容等を拡充して実施します。		
〔補正予算（通年予算）の内訳〕		
プレママ・プレパパ散歩	3回（26年度は1回）	11千円（11千円）
育メンスタート講座	2回（26年度は1回）	40千円（40千円）
－ 子ども・子育て支援 －		

2 在宅子育て支援に向けた保育園地域開放事業等の充実	30,000千円
＜地域における保育環境改善事業費（地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業分）（児童福祉総務費、児童館費）＞	(30,000千円)

地域開放を行っている市内の公立保育園及び児童館において、地域の親子が楽しめるような人形劇等のイベントを開催するほか、子育て情報サイト（子育てねっと）のリニューアルを行うなど、在宅子育て支援の情報提供等の充実を図ります。実施に当たっては、国の「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」を活用し、「子どもを産み・育てやすいまちづくり」や「在宅子育て家庭の支援」に取り組みます。

なお、本事業の実施に必要な屋外遊具などの保育環境の整備については、平成26年度3月補正予算において繰越明許費を設定（30,284千円）し、27年度に繰り越して執行します。

〔事業概要〕

人形劇等イベントの開催
 子育てインフォメーションのパネル更新等
 子育てねっとリニューアル
 その他保育園案内（チラシ）作成等

－ 子ども・子育て支援 －

【財源内訳】

国庫支出金 30,000千円

事業名＜事項名＞及び事業概要	補正予算額 (通年予算額)
3 保育園における給食用食材の放射性物質検査の実施	234千円
＜公設公営保育園運営事業費＞	(234千円)
児童や保護者のより一層の安心のため、公立保育園における給食用食材の放射性物質検査を行います。	
〔事業概要〕	
放射性物質検査 各園年1回	
－ 危機管理 －	
4 保育士等の処遇改善の実施	7,392千円
＜公設民営保育園運営事業費＞	(7,392千円)
保育の担い手である保育士等の確保が課題となっていることから、平成26年度に引き続き、公設民営保育園の保育士等の処遇改善を行います。	
なお、私立認可保育園、認証保育所等の保育士等の処遇改善については、子ども・子育て支援新制度による公定価格や東京都の補助金において措置されています。	
－ 子ども・子育て支援 －	
5 三鷹台団地周辺子育て支援施設等整備事業の推進	16,217千円
＜三鷹台団地周辺子育て支援施設等整備事業費（保育所費）＞	(434,217千円)
三鷹市社会福祉事業団が公私連携型保育園として整備している三鷹赤とんぼ保育園（三鷹台保育園と高山保育園の統合園）について、初度備品等の開設準備に係る支援を行います。	
〔補正予算（通年予算）の内訳〕	
整備費補助金	－ (418,000千円)
開設準備費補助金	12,765千円 (12,765千円)
移転作業料	2,160千円 (2,160千円)
廃棄物品処理委託料等	1,292千円 (1,292千円)
－ 都市再生 －	

■三鷹赤とんぼ保育園のイメージ 外観（左）、内装（右）



《全体事業の概要》

平成24年11月に策定した「三鷹台団地周辺子育て支援施設等整備・再配置基本プラン」に基づき、施設の老朽化への対応、耐震性の確保やバリアフリー化など、施設整備を推進します。

(1) 井の頭・玉川上水周辺地区

平成26年度に整備した五小学童保育所、なかよし教室、三鷹台地区公会堂を集約した複合施設は27年3月から施設利用を開始しています。また、旧五小学童保育所を撤去するとともに、同地に児童遊園の整備を行います。

〔補正予算（通年予算）の内訳〕

・旧五小学童保育所の解体（民生費：学童保育所費）	-	(7,515千円)
・三鷹台児童遊園の整備（土木費：緑化公園費）	17,864千円	(17,864千円)
合 計	17,864千円	(25,379千円)

(2) 牟礼・三鷹台団地周辺地区

平成26年度に実施した設計業務を踏まえて、牟礼地区公会堂、災害対策用備蓄倉庫を集約した複合施設を整備するとともに、三鷹台保育園と高山保育園の統合園として三鷹市社会福祉事業団が整備する「三鷹赤とんぼ保育園」の整備費の助成等を行います。

〔補正予算（通年予算）の内訳〕

・旧牟礼地区公会堂の解体（総務費：コミュニティ育成費）	-	(18,822千円)
・旧障がい児通所施設の解体（民生費：障がい者福祉費）	-	(8,720千円)
・旧災害対策用備蓄倉庫の解体（消防費：災害対策費）	-	(17,365千円)
・複合施設の整備等（総務費：コミュニティ育成費、消防費：災害対策費）	1,079千円	(106,438千円)
・三鷹赤とんぼ保育園の整備等（民生費：保育所費）	16,217千円	(434,217千円)
合 計	17,296千円	(585,562千円)

事業名＜事項名＞及び事業概要	補正予算額 (通年予算額)
----------------	------------------

6 私立認可保育園の開設支援 23,625千円
 ＜私立保育園整備事業費＞ (23,625千円)

待機児童解消に向けて、国の待機児童解消加速化プランに基づき、平成28年4月から新たに1園（予定定員96人）の開設を予定しています。開設に係る整備費の支援については、東京都の安心こども基金を財源とした「賃貸物件による保育所整備事業補助金」などを活用します。

－ 子ども・子育て支援 －

【財源内訳】

都 支 出 金 19,687千円 一 般 財 源 3,938千円

7 私立認可保育園の耐震建替え支援 165,935千円
 ＜私立保育園整備事業費＞ (165,935千円)

昭和47年建設の第二小羊チャイルドセンター本園について、耐震性に課題があることから、園舎建替えに係る支援を行います。また、建替えにあわせて保育定員を拡充します。

〔定員拡充の内容〕

区分	本園定員		
	変更前	変更後	増減
0歳児	9人	9人	0人
1歳児	20人	20人	0人
2歳児	20人	24人	4人
3歳児	20人	25人	5人
合計	69人	78人	9人

－ 危機管理 －

－ 子ども・子育て支援 －

【財源内訳】

都 支 出 金 138,280千円 一 般 財 源 27,655千円

A detailed map of Miyazaki City, Japan, with the city area shaded in pink. The map shows the JR Central Line (JR中央線) running horizontally across the top, with stations including 武蔵境駅 (Musashikojima), 三鷹駅 (Mitama), and 吉祥寺駅 (Kichijoji). A red square marks the 三鷹市役所 (Miyazaki City Office) location, with a red line and arrow pointing to it from the label. Other landmarks include 野川公園 (Nozaki Park), 井の頭公園 (Inokashira Park), and 三鷹台駅 (Mitama Station). The map also shows major roads like 中央自動車道 (Chuo Expressway) and 甲州街道 (Koshu Street). Three numbered circles (1, 2, 3) are placed around the map, corresponding to the numbered circles in the text above. Circle 1 is near the city center, circle 2 is near the city edge, and circle 3 is near the top edge.

- | | |
|----------------|------------------------|
| ①三鷹赤とんぼ保育園 | 三鷹台団地周辺子育て支援施設等整備事業の推進 |
| ②第二小羊チャイルドセンター | 私立認可保育園の耐震建替え支援 |
| ③むらさき子どもひろば | むらさき子どもひろばの耐震補強等の実施 |

1	社会福祉協議会事業助成関係費	26,317千円
2	北野ハピネスセンター改修事業費	42,989千円
3	公設公営保育園運営事業費	22,935千円
4	認証保育所等運営事業費	15,000千円
5	学童保育所管理関係費	12,792千円
6	その他	13,570千円

※参考 当初予算に計上した特記事項

1 生活困窮者自立支援事業の実施 43,411千円

＜生活困窮者自立相談支援事業費、生活困窮者就労準備支援事業費、生活困窮者
住居確保給付金支給事業費、生活困窮者子どもの学習等支援事業費＞

生活困窮者自立支援法の施行を踏まえ総合的な生活困窮者対策を実施

- (1) 生活困窮者からの相談に包括的に対応する各種支援
- (2) 就労に従事するための基礎能力の形成などを支援
- (3) 一定の所得水準以下の離職者等に住居確保給付金を給付
- (4) 生活困窮家庭の子どもへの学習支援

－ セーフティーネット －

2 公設民営保育園の民設民営化の円滑な実施 402,964千円

＜子育てひろば事業費、一時預かり事業費、私立保育園運営事業費、施設型給付
関係費＞

三鷹市社会福祉事業団が運営する3施設（駅前保育園、西野保育園、ちどりこ
ども園）を公私連携型保育園に移行（ちどりこども園は認定こども園）

－ 子ども・子育て支援 －

3 公立・私立保育園の保育定員の拡充 97,126千円

＜公設公営保育園運営事業費、私立保育園運営事業費＞

- (1) 新川保育園、野崎保育園、上連雀保育園の弾力運用による定員拡充 6人
- (2) 三鷹駅前保育園（公私連携保育園）の弾力運用による定員拡充 4人
- (3) 「にじいろ保育園三鷹新川」の開設による定員拡充 96人

－ 子ども・子育て支援 －

4 地域型保育給付の実施 86,133千円

＜地域型保育給付関係費＞

地域型保育施設の開設による待機児童の解消

- | | | |
|------------|-----------------|---------------|
| (1) 小規模保育 | 時の子保育園（牟礼四丁目） | 定員19人 |
| (2) 小規模保育 | ぴかぴか保育園（下連雀三丁目） | 定員19人 |
| (3) 事業所内保育 | ことぶき保育園（野崎二丁目） | 定員14人（地域枠11人） |

－ 子ども・子育て支援 －

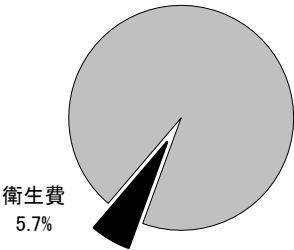
事業名＜事項名＞及び事業概要	補正予算額 (通年予算額)
5 むらさき子どもひろばの耐震補強等の実施 ＜むらさき子どもひろば耐震補強等事業費＞ 耐震補強及び改修工事の実施	32,882千円
	－ 都市再生 －
	－ 子ども・子育て支援 －

予算額内訳

1 補正予算額	659,988千円
2 当初予算額	31,525,543千円
3 補正後予算額（1+2）	32,185,531千円

第4款 衛生費

■一般会計に占める割合



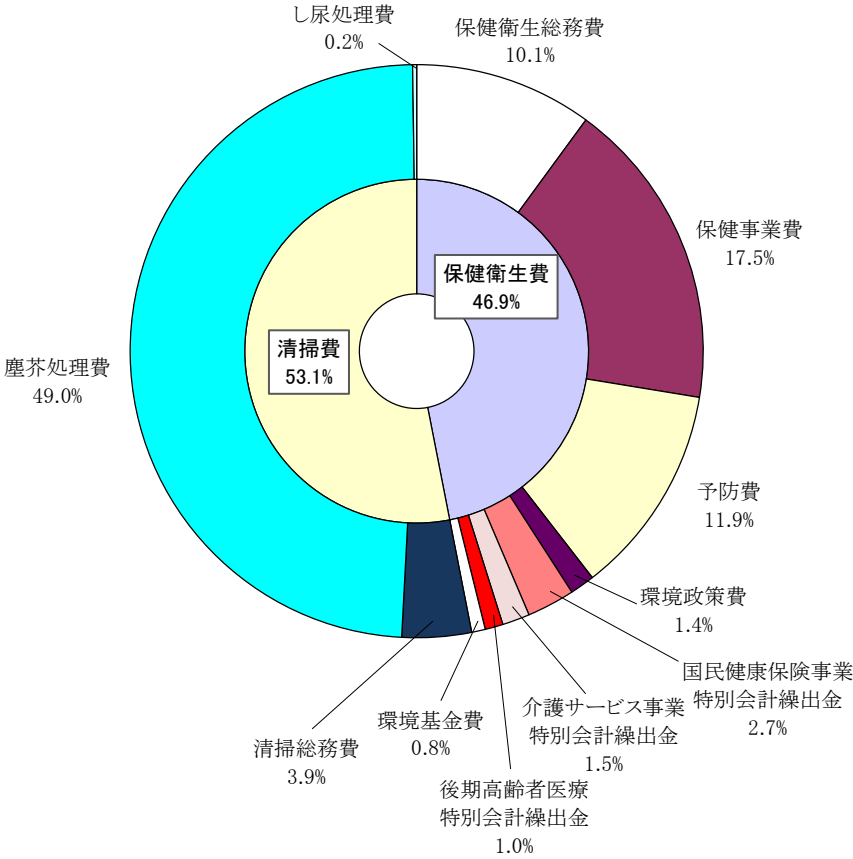
■予算額と財源構成

(単位 千円)

	予算額	国・都支出金	市債	その他	一般財源
平成27年度（補正後予算額）	3,946,953	300,873	0	523,681	3,122,399
当初予算額	3,932,564	300,499	0	523,681	3,108,384
補正予算額	14,389	374	0	0	14,015
平成26年度	3,762,401	329,918	0	540,790	2,891,693
増 △減	184,552	△ 29,045	0	△ 17,109	230,706

予算額項別目別構成比

内円：項
外円：目



第4款 衛生費

保健衛生費

- 1 眼科検診の拡充 《拡充》 9,863千円
 ＜眼科検診関係費＞ (18,688千円)

緑内障・白内障等の早期発見を図るため、40歳以上の市民を対象に実施している眼科検診について、申込者数の増加等を勘案し、より多くの市民が受診できるよう、定員を950人から2,000人に拡充して実施します。

－ 健康長寿社会 －

- 2 自殺予防対策事業の拡充 《拡充》 521千円
 ＜自殺予防対策事業費＞ (521千円)

自殺の現状や自殺予防について理解し、適切な支援につなぐことができるよう、市職員のほかに、民生・児童委員、地域包括支援センター職員にも対象を拡大してゲートキーパー養成講座を実施します。

自殺のリスクを抱えた市民が、悩みに応じて適切な相談窓口を利用することができるよう、現在各部署で行っている心の悩み、介護や子育て等の各種相談窓口を総合的に案内するパンフレットを作成・配布し、その周知に努めるとともに、より適切に対応することのできる体制の構築に取り組みます。

※ゲートキーパー…悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞き、支援につなげ、見守っていく人

－ セーフティーネット －

【財源内訳】

国庫支出金 374千円 一般財源 147千円

- 3 「サステナブル都市三鷹」の実現に向けた研究の推進 69千円
 ＜サステナブル都市推進関係費＞ (69千円)

「サステナブル都市三鷹」の実現のため、サステナブル都市政策検討チームにより、「環境保全」「緑・農地の保全」「経済発展」「社会・文化」「交通・エネルギー」の5つの視点を包含した新たなサステナブル政策事業の提案について、所管部署と連携し、平成27年度以降の事業化に向けた更なる検討を進めます。

－ サステナブル都市 －

■平成27年度実施事業及び継続検討事業

	検討した事業名（仮称）	事業内容（概略）
27年度 から 事業化	まちなかグリーンベルト創出事業	住宅密集地の緑化推進のため、一定の地域を認定し、緑化のための費用を助成し、グリーンベルトを創出する。
	スマートコミュニティ推進のためのサイクルシェア事業	三鷹駅周辺駐輪場の飽和状態緩和方策として、サイクルシェアを行う。 ※ 27年度：ミニ実験 28年度：社会実験
	太陽光発電設備等整備事業	市立小・中学校に太陽光発電設備及び蓄電池を設置し、施設の自家消費を行うとともに、災害時には避難所における非常用電源として利用する。 ※ 27年度：耐震診断・設計 28年度：設置工事
継続検討 事業	地域経済循環システム構築事業	現金支給の助成金を市内共通商品券で支給し、市内経済活性化を目指す。
	市民協働型グローバル観光化推進事業	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、外国人観光客を誘致し、国際交流の推進及び地域振興を目指す。

4 エコタウン開発奨励事業のリニューアル

《拡充》

30千円

＜新エコタウン開発奨励事業費＞

(30千円)

平成25年度から26年度にかけて実施した、環境配慮型住宅の誘導策である「エコタウン開発奨励制度」について、認定事業者へのアンケート調査の結果などを踏まえ、制度のリニューアルを行います。新制度では、創・蓄・省エネ設備導入数及び、低炭素建築物認定・認定長期優良住宅を基本とし、地区計画・景観協定を認定ランクの要件とするほか、奨励金の助成対象を事業者から購入者に変更します。

－ サステナブル都市 －

■制度のイメージ



清掃費

- 1 環境センター跡地の利活用の研究 778千円
 ＜環境センター管理関係費＞ (778千円)

平成25年度末に完全閉鎖した環境センターについて、解体後の循環型リサイクル施設の方向性や跡地の利活用などの検討を行います。また、今後の土壌対策に必要なため、東京都の環境確保条例に基づき、土地利用履歴の調査を実施します。

－ 都市再生 －
 － サステナブル都市 －

- 2 三鷹市ごみ処理総合計画2022（仮称）の策定 3,039千円
 ＜ごみ処理総合計画策定事業費＞ (3,039千円)

平成24年3月に改定した「三鷹市ごみ処理総合計画2015（改定）」について、計画年次が終了するため、「第4次三鷹市基本計画」の第1次改定と整合を図りながら、三鷹市ごみ処理総合計画2022（仮称）の策定を行います。

策定に当たっては、ごみ減量等推進会議委員や学識経験者委員等で構成する検討会議を設置するとともに、パブリックコメント等の実施などにより、幅広く市民の意見を聴きながら取り組みを進めます。

－ サステナブル都市 －

その他補正予算に計上した事業費

- 1 環境調査・測定関係費 89千円

※参考 当初予算に計上した特記事項

- 1 在宅医療廃棄物適正処理の推進 300千円
 ＜在宅医療廃棄物適正処理推進事業費＞

使用済み注射針等の適正処理を推進するため三鷹市薬剤師会への助成を実施

－ サステナブル都市 －

- 2 妊婦健康診査の拡充 8,705千円
 ＜妊婦・乳児健康診査等関係費＞

35歳以上であった超音波検査費用助成の年齢制限を撤廃

－ 子ども・子育て支援 －

事業名＜事項名＞及び事業概要	補正予算額 (通年予算額)
----------------	------------------

- 3 水痘ワクチン及び高齢者肺炎球菌ワクチン接種の実施 46,340千円
 ＜乳幼児等予防接種事業費、高齢者等予防接種事業費＞
 平成26年10月に法定接種となった、水痘ワクチンは全額公費、高齢者肺炎球菌ワクチンは一部自己負担で実施

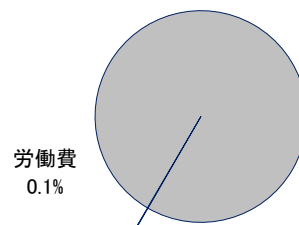
－ 健康長寿社会 －

予算額内訳

- | | |
|---------------|-------------|
| 1 補正予算額 | 14,389千円 |
| 2 当初予算額 | 3,932,564千円 |
| 3 補正後予算額（1+2） | 3,946,953千円 |

第5款 労働費

■一般会計に占める割合



■予算額と財源構成

(単位 千円)

	予算額	国・都支出金	市債	その他	一般財源
平成27年度（補正後予算額）	66,233	8,226	0	0	58,007
当初予算額	66,233	8,226	0	0	58,007
補正予算額	0	0	0	0	0
平成26年度	65,434	8,211	0	0	57,223
増 △減	799	15	0	0	784

事業名＜事項名＞及び事業概要

補正予算額
(通年予算額)

労働費

1 人づくり・人材確保支援事業の実施

《新規》

18,182千円

(18,182千円)

東京都が新たに創設した「東京都人づくり・人材確保支援事業補助金」を活用し、人材育成などを通じた地域の企業等での継続雇用や就業を支援することにより、地域の実情に応じた労働力の確保へとつなげるとともに、市民サービスの向上を図ります。

ー セーフティーネット ー

【財源内訳】

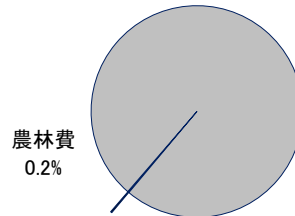
都 支 出 金 18,182千円

■人づくり・人材確保支援事業一覧

	事業名	予算額	参照ページ
1	総務費 天文・科学情報スペース（仮称）事業	7,966千円	62 ページ
2	商工費 地域活性化サポーターズ（仮称）養成事業	4,907千円	99 ページ
3	教育費 古文書資料デジタル化事業	5,309千円	122 ページ
	合 計	18,182千円	

第6款 農林費

■一般会計に占める割合



■予算額と財源構成

(単位 千円)

	予算額	国・都支出金	市債	その他	一般財源
平成27年度（補正後予算額）	154,071	18,792	0	2,508	132,771
当初予算額	135,014	3,240	0	2,508	129,266
補正予算額	19,057	15,552	0	0	3,505
平成26年度	159,521	27,114	0	4,000	128,407
増 △減	△5,450	△8,322	0	△1,492	4,364

事業名＜事項名＞及び事業概要

補正予算額
(通年予算額)

農林費

- 1 都市農地保全支援プロジェクト事業の実施 《新規》 17,552千円
 ＜都市農地保全支援プロジェクト事業費＞ (17,552千円)

平常時は農産物生産に活用するとともに、災害時には市民の生活用水を確保するための防災兼用農業用井戸の設置に対して助成を行います。

〔事業概要〕

実施主体：三鷹の農地を保全する会

整備内容：防災兼用農業用井戸の設置 4本

－ 地域活性化 －

【財源内訳】

都 支 出 金 15,552千円 一 般 財 源 2,000千円

事業名＜事項名＞及び事業概要	補正予算額 (通年予算額)
----------------	------------------

その他補正予算に計上した事業費

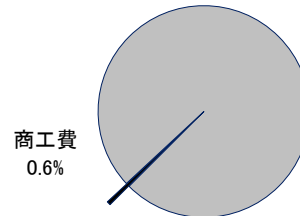
1 農業公園管理運営費	1,433千円
2 その他	72千円

予算額内訳

1 補正予算額	19,057千円
2 当初予算額	135,014千円
3 補正後予算額（1+2）	154,071千円

第7款 商工費

■一般会計に占める割合



■予算額と財源構成

(単位 千円)

	予算額	国・都支出金	市債	その他	一般財源
平成27年度（補正後予算額）	411,706	49,836	0	39,491	322,379
当初予算額	381,190	44,929	0	39,491	296,770
補正予算額	30,516	4,907	0	0	25,609
平成26年度	399,737	55,992	0	44,344	299,401
増 △減	11,969	△6,156	0	△4,853	22,978

事業名＜事項名＞及び事業概要

補正予算額
(通年予算額)

商工費

- 1 商店会街路灯ＬＥＤ化の推進 600千円
 ＜商店街助成事業費＞ (600千円)

街路灯のＬＥＤ化を進める商店会に対して、東京都から商店会への直接補助制度に市独自の上乗せ補助を行うことで、魅力ある商店街づくりを推進するとともに、ＣＯ２削減等の地球温暖化防止に努めます。

〔事業概要〕

実施主体：駅前西商店会

整備内容：街路灯47基のＬＥＤ化（ランプ交換のみ）

－ サステナブル都市 －

- 2 都市型産業誘致の推進 17,444千円
 ＜都市型産業誘致促進事業費＞ (17,444千円)

「三鷹市都市型産業誘致条例」に基づき、平成27年度も引き続き、事業者に向けて積極的な情報提供等を行い、優良企業の誘致と市内事業施設の増設などを促進します。また、25年度に増設を行った事業者に対して助成を行います。

－ サステナブル都市 －

事業名＜事項名＞及び事業概要	補正予算額 (通年予算額)
----------------	------------------

- | | | |
|----------------|------|-----------|
| 3 商店街・地域活性化の推進 | 《新規》 | 4,907千円 |
| ＜商店街活性化推進事業費＞ | | (4,907千円) |

商店街・地域のにぎわいづくりを推進するため、パソコン等操作への苦手意識などを持つ商店主に代わって、インターネット上に記事や写真の投稿等を行う「地域活性化サポーターズ（仮称）」を養成します。サポーターズは、商店主視点でのサポートに加え、消費者としておすすめ店舗や商品の紹介等の情報発信も行います。

－ 地域活性化 －

【財源内訳】

都 支 出 金 4,907千円

その他補正予算に計上した事業費

- | | |
|-----------------------|---------|
| 1 SOHO支援事業費 | 1,000千円 |
| 2 三鷹市消費者活動センター管理運営関係費 | 6,565千円 |

※参考 当初予算に計上した特記事項

- | | |
|--------------------|---------|
| 1 空き店舗を活用した商店街の活性化 | 6,219千円 |
| ＜商店街活性化推進事業費＞ | |

三鷹駅前の空き店舗を活用した「みたかスペースあい」の運営等を支援

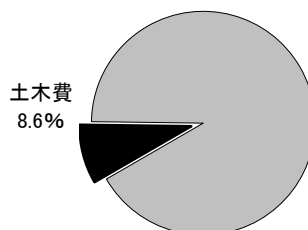
－ 地域活性化 －

予算額内訳

- | | |
|---------------|-----------|
| 1 補正予算額 | 30,516千円 |
| 2 当初予算額 | 381,190千円 |
| 3 補正後予算額（1+2） | 411,706千円 |

第8款 土木費

■一般会計に占める割合



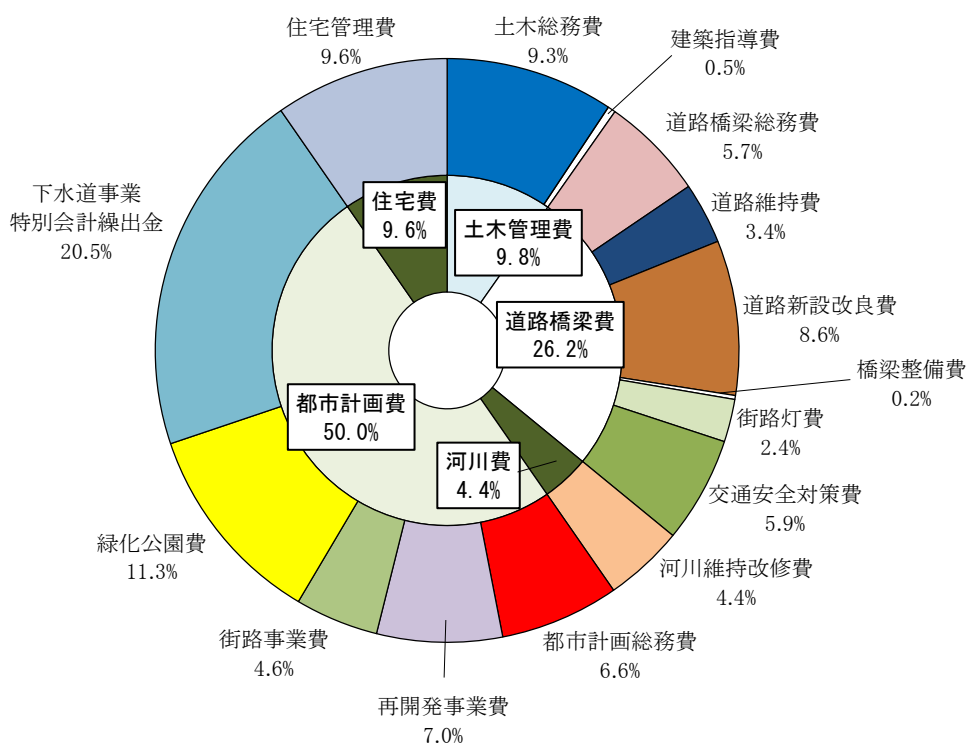
■予算額と財源構成

(単位 千円)

	予算額	国・都支出金	市債	その他	一般財源
平成27年度（補正後予算額）	5,930,378	761,999	462,000	403,110	4,303,269
当初予算額	4,382,223	488,909	234,000	99,292	3,560,022
補正予算額	1,548,155	273,090	228,000	303,818	743,247
平成26年度	6,046,947	1,177,435	709,000	367,255	3,793,257
増 △減	△116,569	△415,436	△247,000	35,855	510,012

予算額項目別構成比

内円：項
外円：目



第8款 土木費

事業名＜事項名＞及び事業概要	補正予算額 (通年予算額)
----------------	------------------

土木管理費

- 1 地籍調査の実施 《新規》 33,452千円
 ＜地籍調査事業費＞ (33,452千円)

国土調査法に基づく地籍調査に着手し、地籍の明確化を図ります。事業着手に当たっては、民有地と官有地、官有地と官有地との境界線を明確にする「官民境界先行調査」を実施します。

地籍調査によって、土地と土地の境界が明確化され、土地取引の円滑化や災害復旧等の迅速化などが図られます。

※ 地籍調査

一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量する調査

【財源内訳】

都 支 出 金	25,013千円	一 般 財 源	8,439千円
---------	----------	---------	---------

道路橋梁費

- 1 市道第135号線（三鷹台駅前通り）整備の促進 39,915千円
 ＜市道第135号線（三鷹台駅前通り）整備事業費＞ (126,443千円)

平成17年度に策定した「三鷹市道第135号線緊急整備方針」に基づき進めている三鷹台駅周辺区域（三鷹台駅前交番～立教女学院区間 延長約232m）について、バリアフリーに配慮した歩行空間の整備に向けて、用地を取得します。この用地取得により、事業予定地の取得はすべて終了します。

〔補正予算（通年予算）の内訳〕

電線共同溝等の整備	-	(86,528千円)
用地取得（41.1㎡）	39,915千円	(39,915千円)
	-	都市交通安全 -

【財源内訳】

国 庫 支 出 金	6,600千円	市 債	29,000千円
一 般 財 源	4,315千円		

事業名＜事項名＞及び事業概要		補正予算額 (通年予算額)
2 三鷹駅南口ペDESTロリアンデッキの点検調査	《新規》	10,000千円
＜三鷹駅前デッキ等維持管理費＞		(10,000千円)
利用者の安全安心の確保を図るとともに、今後の計画的な改修工事の実施に向けて、三鷹駅南口ペDESTロリアンデッキの近接目視による点検調査や点検口からの内部確認調査などを実施します。		
		－ 都市再生 －
		－ 危機管理 －
3 安全安心な橋梁の改修		5,114千円
＜橋梁改修事業費＞		(10,298千円)
平成26年度に策定した「三鷹市橋梁長寿命化修繕計画」等に基づき、仙川に架かる勝淵橋（新川三丁目）の改修工事や耐震補強を行います。		
また、玉川上水に架かる宮下橋（牟礼二丁目）の架替えに向けて、20年度に実施した基本設計の修正を行い、現状に合わせた橋台構造への見直しを検討します。		
〔補正予算（通年予算）の内訳〕		
宮下橋設計委託	1,964千円	(7,148千円)
勝淵橋改修工事	3,150千円	(3,150千円)
		－ 都市再生 －
		－ 危機管理 －

■現在の勝淵橋



事業名＜事項名＞及び事業概要	補正予算額 (通年予算額)
----------------	------------------

- 4 街路灯のＬＥＤ化に向けた取り組み 《新規》 15,000千円
 ＜街路灯整備事業費＞ (15,000千円)

街路灯の照度を確保しつつ、電気料の削減や維持管理費の抑制を図るため、平成28年度からリース方式によるＬＥＤ化を図ります。

27年度は、事前準備として、街路灯の現況調査を行うとともに、事業者を選定するため、債務負担行為を設定します。

・債務負担行為の設定

事 項	ＬＥＤ街路灯器具使用料
期 間	平成28年度から平成37年度
限度額	700,000千円

－ サステナブル都市 －

- 5 みたかバスネットの見直しの検討 4,720千円
 ＜地域公共交通活性化協議会関係費、コミュニティバス関係費＞ (55,119千円)

平成26年度に策定した「コミュニティバス事業基本方針に基づく第二期見直し方針」に沿って、「見直し計画」を策定します。28年度の計画実施に向けて、西部ルートと三鷹台ルートを中心に見直しを行うとともに、その他のルートについても、新川防災公園・多機能複合施設（仮称）への乗り入れを検討するなど、利便性の向上を図ることを基本に、地域公共交通活性化協議会で協議を進めます。あわせて、新川防災公園・多機能複合施設（仮称）や杏林大学病院周辺等の交通量調査を実施し、交通事情の把握に努めます。

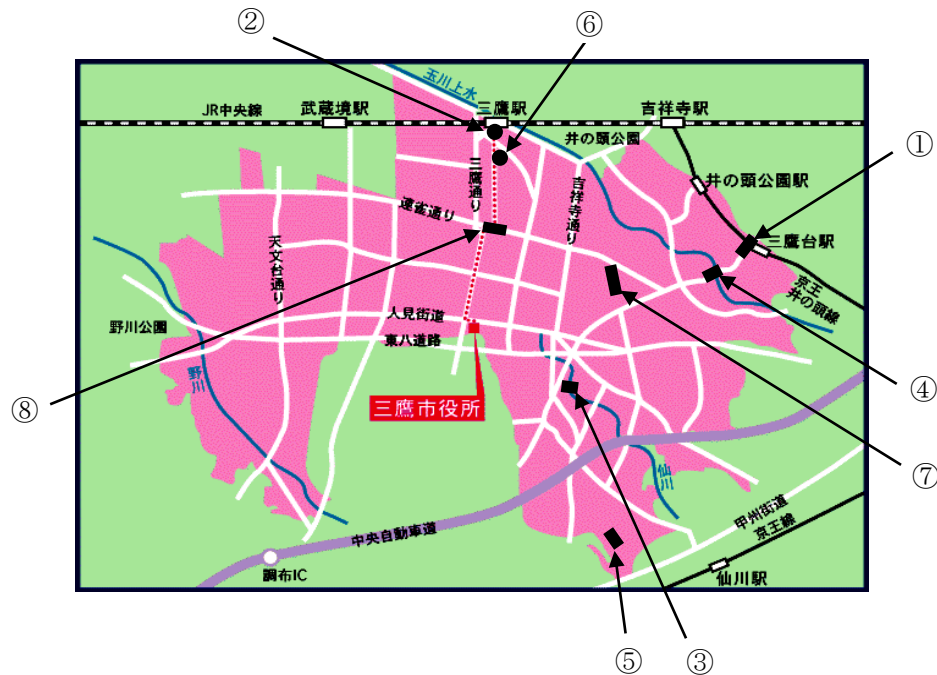
〔補正予算（通年予算）の内訳〕

地域公共交通活性化協議会の開催等	2,560千円	(3,419千円)
交通量調査の実施	2,160千円	(2,160千円)
その他 コミュニティバス運行補助等	-	(49,540千円)

－ 都市交通安全 －

事業名＜事項名＞及び事業概要		補正予算額 (通年予算額)
6 サイクルシェア事業に向けた取り組み	《新規》	9,800千円
＜サイクルシェア事業費＞		(9,800千円)
杏林大学井の頭キャンパスオープン（平成28年4月）による三鷹駅利用者の増加を見据え、三鷹駅周辺駐輪場の効率的な利用を図るため、28年度にサイクルシェア事業の社会実験を計画しています。		
27年度は、既存のレンタサイクルを活用してミニ実験を実施し、評価・検証を行うとともに、三鷹駅周辺駐輪場のサイクルシェア駐輪場（ポート）等の施設を整備します。		
〔スケジュール〕		
平成27年度	ミニ実験、評価・検証 サイクルシェア駐輪場（ポート）等の整備 社会実験に向けたシステム構築等	
平成28年度	社会実験	
－ 都市交通安全 －		
【財源内訳】		
国庫支出金	1,870千円	一般財源 7,930千円

平成27年度に取り組む主な道路等の整備



【道路橋梁費】

- ①市道第135号線 市道第135号線（三鷹台駅前通り）整備の促進
- ②三鷹駅南口ペデストリアンデッキ 三鷹駅南口ペデストリアンデッキの点検調査
- ③勝渕橋 安全安心な橋梁の改修
- ④宮下橋 安全安心な橋梁の改修

【河川費】

- ⑤中仙川 中仙川改修事業の実施

【都市計画費】

- ⑥三鷹駅南口中央通り東地区 三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業の推進
- ⑦都市計画道路3・4・13号 都市計画道路3・4・13号（牟礼）整備の促進
- ⑧都市計画道路3・4・7号 都市計画道路3・4・7号（連雀通り）整備の促進

都市計画費

- 1 用途地域等の見直しの検討 4,051千円
 ＜都市計画事業運営費＞ (4,051千円)
 平成25年度に策定した「三鷹市用途地域等に関する指定方針及び指定基準」等を踏まえ、「用途地域等の見直し方針」を策定します。
 用途地域等の見直し方針において、土地利用における課題解決の方向性や対応時期等を定めるとともに、東京外かく環状道路周辺などについて、用途地域等見直し素案を作成します。
 [用途地域等見直し素案対象地域]
 ・東京外かく環状道路中央ジャンクション（仮称）周辺地域
 ・東八道路（牟礼橋～牟礼一丁目）周辺地域
 — 地域活性化 —
- 2 東京外かく環状道路に関する調査・検討 738千円
 ＜東京外かく環状道路計画調査研究関係費＞ (1,903千円)
 平成27年3月にとりまとめた「北野の里（仮称）を中心としたまちづくりワークショップでいただいたご意見に対する三鷹市の基本的な考え方」を段階的かつ計画的に推進するため、「北野の里（仮称）まちづくり方針」を策定します。
 また、ジャンクション蓋かけ上部空間等の利用やジャンクション周辺のまちづくりについて、市民、事業者、国及び東京都と連携・協働して進めていきます。
 さらに、国・東京都が示した「対応の方針」が確実に実行されるよう、引き続き国・東京都に要請するほか、多岐にわたる課題について、的確に対応できるよう助言者会議を開催します。
 — 都市再生 —
 — 地域活性化 —
- 3 三鷹市土地利用総合計画2022の改定 2,700千円
 ＜土地利用総合計画改定関係費＞ (2,700千円)
 「第4次三鷹市基本計画」と整合を図りながら「三鷹市土地利用総合計画2022」の改定を行います。改定に当たっては、時点修正を基本とし、大規模土地利用転換や用途地域等の見直しを踏まえながら、ゾーニングなどを見直します。

事業名＜事項名＞及び事業概要	補正予算額 (通年予算額)
----------------	------------------

4 三鷹台駅前周辺地区のまちづくりの推進 2,049千円

＜三鷹台駅前周辺地区整備関係費＞ (2,049千円)

三鷹市の東部地区の玄関口にふさわしい都市空間を創出するため、関係権利者や地域住民等の意見を聴きながら「まちづくり推進地区整備方針」を策定します。

また、整備方針に基づき、都市計画道路3・4・10号（三鷹台駅前通り）や駅前地域における用途地域の変更など、都市計画変更について検討を進めます。

－ 都市再生 －
－ 地域活性化 －

5 三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業の推進 405,789千円

＜三鷹駅南口中央通り東地区市街地再開発事業費＞ (405,789千円)

三鷹駅南口中央通り東地区（三鷹センター周辺・文化劇場跡地）が、三鷹駅前にふさわしい活性化の拠点となるよう、「三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業における市の基本的な考え方」に基づき、関係権利者やUR都市機構と連携し、分棟案による施設計画や事業手法等の検討を進めます。

また、再開発事業用地（471.68㎡）を取得するなど、関係権利者やUR都市機構と合意形成を図りながら、高度利用地区、市街地再開発事業、地区計画等の都市計画決定を目指します。

－ 都市再生 －
－ 地域活性化 －

【財源内訳】

繰入金	300,000千円	一般財源	105,789千円
-----	-----------	------	-----------

6 都市計画道路3・4・13号（牟礼）整備の促進 209,372千円

＜都市計画道路3・4・13号（牟礼）整備事業費＞ (213,045千円)

三鷹都市計画道路3・4・13号の人見街道から連雀通りまでの区間（約466m）を整備するため、引き続き用地（544.18㎡）を取得します。

※平成26年度末の取得面積及び取得率 5,581.86㎡（77.28%）

－ 都市交通安全 －

【財源内訳】

国庫支出金	82,500千円	都支出金	33,750千円
市債	78,000千円	一般財源	15,122千円

事業名＜事項名＞及び事業概要	補正予算額 (通年予算額)
----------------	------------------

7 借地公園の公有地化の推進 237,595千円
 ＜児童遊園整備事業費、都市公園整備事業費＞ (237,595千円)

児童遊園等の公園用地の公有地化を図ります。

〔事業概要〕

- ①野崎三丁目公園（大沢青少年広場） 取得面積 546.55㎡
 ②新川あおやぎ公園 取得面積 316.01㎡

－ サステナブル都市 －

【財源内訳】

国庫支出金	50,600千円	都支出金	50,600千円
市債	121,000千円	一般財源	15,395千円

■野崎三丁目公園（大沢青少年広場）



■新川あおやぎ公園



8 農の風景の保全・維持管理 《新規》 5,745千円
 ＜都市公園維持管理費、都市公園整備事業費＞ (5,745千円)

平成26年度に策定した「三鷹市農地の保全に向けた基本方針」に基づき、農のある風景を保全するため、26年度に三鷹市土地開発公社が取得した新川丸池公園用地を暫定整備し、維持管理を行います。実施に当たっては、季節に応じた作物の栽培や体験農園などを行います。

－ サステナブル都市 －

事業名＜事項名＞及び事業概要	補正予算額 (通年予算額)
----------------	------------------

9 大沢の里の整備 16,070千円
 ＜大沢の里整備事業費＞ (16,070千円)

緑と水の拠点の一つである大沢の里について、貴重な自然を生かしながら、木道の改修や広場の整備、畑の造成など修景整備を行います。整備終了後、一般開放のエリアを拡大します。

－ サステナブル都市 －

【財源内訳】

国庫支出金	2,500千円	都支出金	1,250千円
一般財源	12,320千円		

10 まちなかグリーンベルトの推進 《新規》 －

地域コミュニティの創出を図りながら、町会・自治会単位の面的な緑化を推進します。具体的には市の計画案をもとに、公益財団法人東京都公園協会の助成制度を活用し、平成29年度までのモデル事業として、新川宿地区において緑化推進に取り組みます。

また、27年度はワークショップ等により地域との意識の共有化を図り、28年度から緑化工事を実施します。

なお、協会からの助成は町会・自治会等に対して直接行われ、市が助成を実施するのは、28年度以降となります。

－ コミュニティ創生 －

－ サステナブル都市 －

平成27年度に取り組む主な公園整備



- | | |
|-------------------|--------------|
| ①野崎三丁目公園（大沢青少年広場） | 借地公園の公有地化の推進 |
| ②新川あおやぎ公園 | 借地公園の公有地化の推進 |
| ③大沢の里公園 | 大沢の里の整備 |

その他補正予算に計上した事業費

1 市道舗装整備事業費	15,096千円
2 市道路面整備事業費	155,373千円
3 私道整備事業費	9,795千円
4 狭あい道路等拡幅整備事業費	62,469千円
5 三鷹駅前デッキエスカレーター改修事業費	50,976千円
6 生活道路整備事業費	6,320千円
7 三鷹駅南口駅前広場用地取得事業費	5,799千円
8 都市計画道路3・4・7号（連雀通り）整備事業費	7,390千円
	(31,800千円)
9 三鷹市土地開発公社関係費	102,010千円
10 その他	130,817千円

事業名＜事項名＞及び事業概要	補正予算額 (通年予算額)
----------------	------------------

※参考 当初予算に計上した特記事項

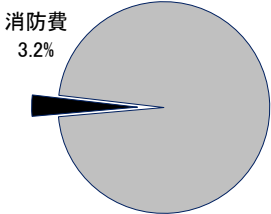
- | | | | |
|---|------|-----------|----------------------|
| 1 中仙川改修事業の実施
＜中仙川改修事業費＞
都市型水害対策として、平成29年度工事完了に向けて中原地区の中仙川改修に着手 | 《新規》 | 248,713千円 | － 都市再生 －
－ 危機管理 － |
| 2 都市計画道路３・４・７号（連雀通り）整備の促進
＜都市計画道路３・４・７号（連雀通り）整備事業費＞
東京都の「新みちづくり・まちづくりパートナー事業」として電線共同溝等の詳細設計を実施 | | 24,410千円 | － 都市交通安全 － |
| 3 特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化の促進
＜特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業費＞
東京都の助成制度が平成27年度末までに延長となり、設計費及び改修費の助成を実施（耐震診断３件、補強設計２件、改修等３件） | | 489,322千円 | － 都市再生 －
－ 危機管理 － |

予算額内訳

- | | |
|---------------|-------------|
| 1 補正予算額 | 1,548,155千円 |
| 2 当初予算額 | 4,382,223千円 |
| 3 補正後予算額（1+2） | 5,930,378千円 |

第9款 消防費

■一般会計に占める割合



■予算額と財源構成

(単位 千円)

	予算額				
		国・都支出金	市債	その他	一般財源
平成27年度（補正後予算額）	2,244,062	302,124	42,000	150	1,899,788
当初予算額	2,218,137	300,124	42,000	150	1,875,863
補正予算額	25,925	2,000	0	0	23,925
平成26年度	2,254,034	303,119	16,700	150	1,934,065
増 △減	△9,972	△995	25,300	0	△34,277

事業名＜事項名＞及び事業概要

補正予算額
(通年予算額)

消防費

1 デジタル用消防無線受令機の整備

20,777千円

＜消防団運営費＞

(20,777千円)

消防団が現在使用しているアナログ波の消防無線受令機について、平成28年5月末で使用できなくなることから、東京都の「区市町村防災関連通信整備費補助金」を活用して、デジタル波仕様の消防無線受令機に更新します。

〔整備概要〕

- ・携帯型 81台（団員及び分団詰所等に配備）
- ・車載型 11台（消防ポンプ車等に配備）
- ・防災課用 1台

－ 危機管理 －

【財源内訳】

都 支 出 金 2,000千円

一 般 財 源 18,777千円

事業名＜事項名＞及び事業概要	補正予算額 (通年予算額)
----------------	------------------

2 消防団用装備品の充実	532千円
＜消防団運営費＞	(532千円)

消防団が各災害現場において安全に活動するため、すべての消防団員に対して防塵メガネ及びヘッドライトを配備（平成27年度から3か年計画）し、消防団用装備品の充実を図ります。

－ 危機管理 －

3 在宅避難者の支援と災害対策用備蓄物資等の整備	4,410千円
＜災害対策備蓄等整備事業費、災害時在宅生活支援施設整備事業費＞	(15,585千円)

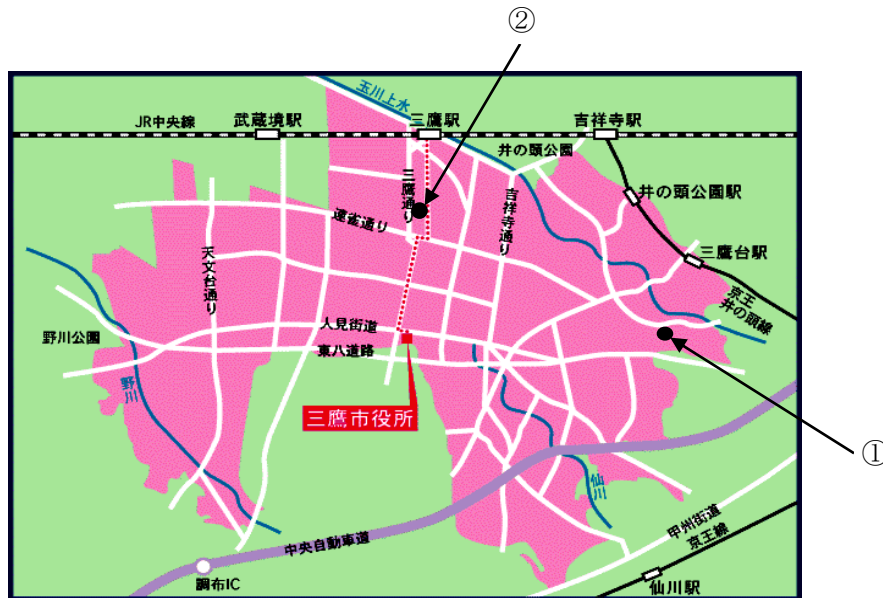
災害時に在宅で被災生活を行う市民を支援するための生活支援施設を「三鷹市地域防災計画」に基づき新たに2箇所整備し、炊出し用設備等を配備します。また、市内の協定避難所4施設に災害対策用プライベートルームテントを配備するほか、高齢者や障がい者などの要配慮者の避難所生活を支援するために必要な備蓄物資の拡充に取り組みます。

〔整備概要〕

- | | | |
|---------------|-------------|------------|
| ・生活支援施設の整備 | 2,084千円 | (2,084千円) |
| 施設（2箇所） | 牟礼東地区公会堂 | |
| | 下連雀きたうら児童公園 | |
| ・避難所用備蓄物資等の拡充 | 2,326千円 | (2,326千円) |
| 敷きマット | | |
| 仮設組立トイレの洋式化 | | |
| 大人用紙おむつ | | |
| ・その他既存備蓄品の更新 | － | (11,175千円) |

－ 危機管理 －

平成27年度に取り組む主な施設整備



①牟礼東地区公会堂

在宅避難者の支援と災害対策用備蓄物資等の整備

②下連雀きたうら児童公園

在宅避難者の支援と災害対策用備蓄物資等の整備

その他補正予算に計上した事業費

1 三鷹台団地周辺子育て支援施設等整備事業費

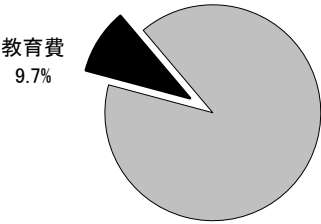
206千円

予算額内訳

1 補正予算額	25,925千円
2 当初予算額	2,218,137千円
3 補正後予算額 (1+2)	2,244,062千円

第10款 教育費

■一般会計に占める割合

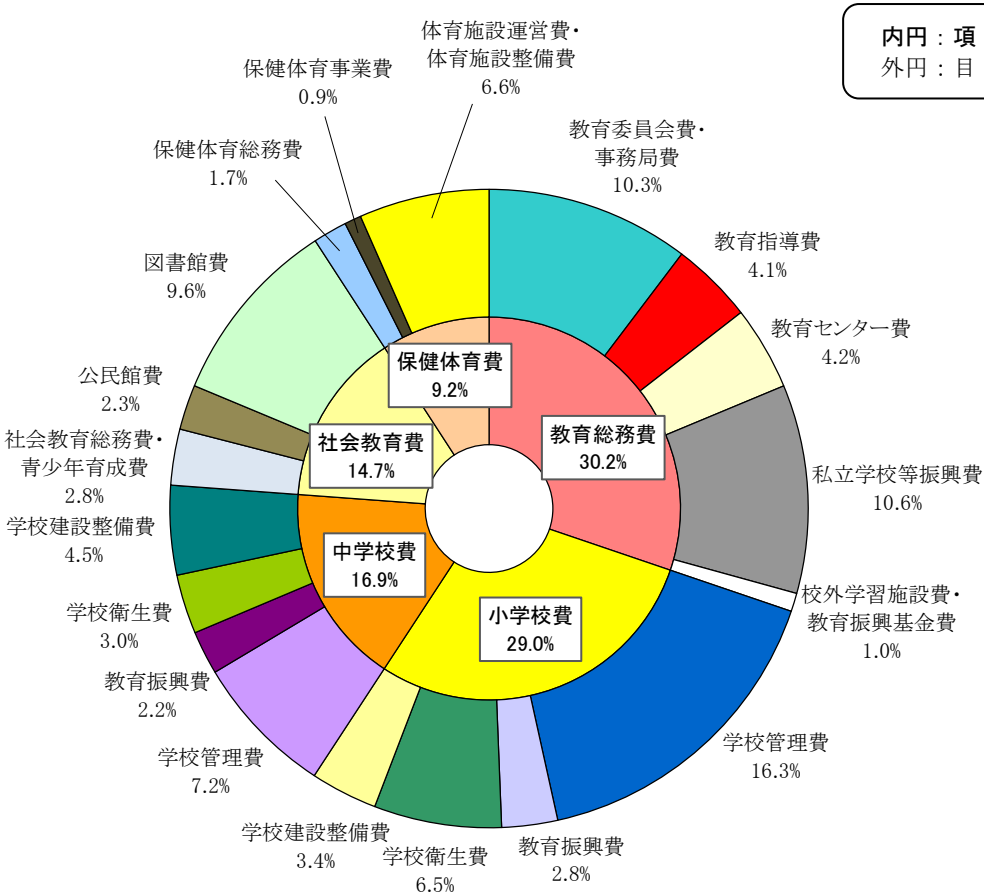


■予算額と財源構成

(単位 千円)

	予算額	国・都支出金	市債	その他	一般財源
平成27年度（補正後予算額）	6,712,544	495,778	154,000	61,032	6,001,734
当初予算額	6,202,929	460,021	154,000	60,432	5,528,476
補正予算額	509,615	35,757	0	600	473,258
平成26年度	6,562,090	476,046	404,100	163,277	5,518,667
増 △減	150,454	19,732	△250,100	△102,245	483,067

予 算 額 項 別 目 別 構 成 比



事業名＜事項名＞及び事業概要		補正予算額 (通年予算額)
教育総務費		
1 学校給食用食材の放射性物質検査の実施		261千円
＜学校給食関係費＞		(261千円)
児童・生徒や保護者のより一層の安心のため、市立小中学校における給食用食材の放射性物質検査を行います。		
〔事業概要〕		
放射性物質検査 各校年1回		
－ 危機管理 －		
2 学校給食の充実と効率的な運営の推進	《拡充》	180千円
＜給食調理業務委託化等関係費、学校給食関係費（小学校費・中学校費）＞		(339,468千円)
安全でおいしい学校給食と効率的な運営を推進するため、平成28年度から新たに委託を開始する羽沢小学校と第七中学校、委託から5年目を迎える第二小学校と井口小学校について、27年度中に事業者選定を行うことから、債務負担行為を設定します。		
〔補正予算（通年予算）の内訳〕		
選定事業者の経営分析調査	180千円	(180千円)
その他給食調理業務委託等		－ (339,288千円)
・債務負担行為の設定		
事 項 学校給食調理業務委託事業		
期 間 平成28年度		
限度額 102,100千円		
＜参考＞ 委託継続校（小学校9校、中学校4校）		
第一小学校、第二小学校、第四小学校、第六小学校、南浦小学校、中原小学校		
北野小学校、井口小学校、東台小学校		
第一中学校、第二中学校、第五中学校、第六中学校		
－ 子ども・子育て支援 －		

事業名＜事項名＞及び事業概要	補正予算額 (通年予算額)
----------------	------------------

3 総合教育会議の開催	《新規》	129千円
＜総合教育会議関係費＞		(129千円)

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」（平成27年4月1日施行）に基づき、「総合教育会議」を開催します。

「総合教育会議」は、市長と教育委員会で構成され、市長が会議を招集します。市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育課題やあるべき姿を共有しながら、より一層民意を反映した教育行政を推進します。

〔総合教育会議の協議事項等〕

- ・教育の目標や施策の根本的な方針となる「大綱」の策定
- ・教育の条件整備など重点的に講ずべき施策
- ・児童・生徒の生命・身体のプロテクト等緊急の場合に講ずべき措置

－ 子ども・子育て支援 －

4 コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育の充実と発展		600千円
	《拡充》	(75,174千円)

＜コミュニティ・スクール及び学校運営協議会関係費、小・中一貫教育校関係費＞

コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育について、更なる内容の充実と持続可能な教育活動や学園運営の支援等を行います。

また、学校支援者の裾野を広げるため、教育振興基金を活用し、コミュニティ・スクールの仕組みや学校と地域との関わりを伝える「コミュニティ・スクールガイド」を3学園で作成します。（※他の4学園は作成済み）

〔補正予算（通年予算）の内訳〕

コミュニティ・スクールガイドの作成

（連雀学園、にしみたか学園、おおさわ学園）

600千円 （600千円）

その他 小・中一貫教育の支援等

－ (74,574千円)

－ コミュニティ創生 －

－ 子ども・子育て支援 －

【財源内訳】

繰入金 600千円

事業名＜事項名＞及び事業概要		補正予算額 (通年予算額)
5	オリンピック・パラリンピック教育推進校事業の拡充 ＜オリンピック・パラリンピック教育推進校事業費＞	《拡充》 2,000千円 (5,500千円)
市内11校の小・中学校において、オリンピック及びパラリンピックの歴史、意義、理念を学習することを通じて、国際理解を深めるとともに、オリンピック等を講師とした授業の実施や体育授業の充実に向けた環境整備を通じて、児童・生徒の運動・スポーツへの関心を高め、体力向上、健康増進を図ります。 事業実施に当たっては、東京都の「オリンピック・パラリンピック教育推進校事業委託金」を活用します。 〔補正予算（通年予算）の内訳〕 実施校の拡充（4校）		
		2,000千円 (5,500千円)
		－ 子ども・子育て支援 －
【財源内訳】		
都 支 出 金		2,000千円
6	小学校外国語活動アドバイザー活用事業の実施 ＜小学校外国語活動アドバイザー活用事業費＞	《新規》 800千円 (800千円)
小学校における学級担任の英語指導力の向上及びALTを活用した授業内容の更なる充実を図るため、市内小学校5、6年生を担当する全教員の外国語授業に、外国語活動に堪能な講師を派遣し、教材開発や授業展開など、個々の能力に応じた助言や指導を行います。事業実施に当たっては、東京都の「小学校外国語活動アドバイザー活用事業委託金」を活用します。		
		－ 子ども・子育て支援 －
【財源内訳】		
都 支 出 金		800千円
7	理数授業特別プログラム事業の実施 ＜理数授業特別プログラム事業費＞	《新規》 1,000千円 (1,000千円)
理数が好きな児童・生徒を増やすため、大学や企業などと連携して外部講師を招き、理科や算数・数学、科学技術等に対する興味、関心を喚起する特別授業を行います。平成27年度は11校で実施し、事業実施に当たっては、東京都の「理数授業特別プログラム事業委託金」を活用します。 なお、27年度、28年度の2か年事業とし、2年間で市内全22校で実施します。		
		－ 子ども・子育て支援 －
【財源内訳】		
都 支 出 金		1,000千円

事業名＜事項名＞及び事業概要	補正予算額 (通年予算額)
----------------	------------------

- 8 日本の伝統・文化の良さを発信する能力と態度の育成 《新規》 500千円
 ＜日本の伝統・文化の良さを発信する能力・態度の育成事業費＞ (500千円)

日本の伝統・文化の良さを理解し、その良さを発信できる児童を育成するため、第一小学校において、新川囃子保存会によるお囃子についての講話や実技指導を行うほか、東京都から派遣される外国人とのお囃子を通した文化交流体験を実施します。事業実施に当たっては、東京都の「日本の伝統・文化の良さを発信する能力・態度の育成事業委託金」を活用します。

－ 子ども・子育て支援 －

【財源内訳】

都 支 出 金 500千円

- 9 日本の伝統・文化教育の充実に向けた調査・研究 《新規》 1,044千円
 ＜我が国の伝統・文化教育の充実に係る調査研究事業費＞ (1,044千円)

国際社会で活躍する人財を育成するため、第七小学校において、歌舞伎指導者による実技指導など、歌舞伎を題材とした日本の伝統や文化の理解教育を実施します。事業実施に当たっては、国の「我が国の伝統・文化教育の充実に係る調査研究事業委託金」を活用します。

－ 子ども・子育て支援 －

【財源内訳】

国 庫 支 出 金 1,044千円

事業名＜事項名＞及び事業概要	補正予算額 (通年予算額)
----------------	------------------

小学校費・中学校費

1 通学路の安全確保の充実 《拡充》 8,779千円

＜通学路防犯設備関係費＞ (8,974千円)

学校と地域等が連携して行う通学路の見守り活動を補完するため、小学校通学路に防犯カメラを設置します。事業実施に当たっては、東京都の「通学路防犯設備整備補助金」を活用し、平成30年度までに全市立小学校の通学路への設置を目指します。

〔補正予算（通年予算）の内訳〕

防犯カメラの設置	8,692千円	(8,692千円)
防犯カメラの維持管理	87千円	(282千円)

〔実施校及び台数〕

実施校 4校（第三小学校、第五小学校、大沢台小学校、羽沢小学校）

台数 各校5台

※ 既設置校 北野小学校（平成26年度）

－ 危機管理 －

【財源内訳】

都支出金	3,800千円	一般財源	4,979千円
------	---------	------	---------

2 学校校庭の芝生化の推進 《拡充》 2,700千円

＜校庭芝生化整備事業費＞ (26,777千円)

ヒートアイランド現象の緩和など環境負荷の低減の一助とするとともに、児童への環境教育の推進や体力向上に資するため、羽沢小学校における平成28年度の芝生化整備工事に向け、実施設計を行います。

〔補正予算（通年予算）の内訳〕

羽沢小学校実施設計	2,700千円	(2,700千円)
中原小学校校庭芝生整備		－ (24,077千円)

－ サステナブル都市 －

【財源内訳】

都支出金	1,944千円	一般財源	756千円
------	---------	------	-------

■平成26年度に芝生化した第四中学校（左：屋上、右：校庭）



3 学級数増への適切な対応と学校規模の適正化に向けた取り組み 10,000千円
 ＜三鷹の森学園高山小学校校舎増築事業費＞ (10,000千円)

高山小学校について、児童数の増加により、新たに普通教室の確保が必要と見込まれることから、平成26年度に策定した対応の方針と計画を踏まえ、28年度の校舎増築工事に向けた実施設計を行います。

－ 子ども・子育て支援 －

4 太陽光発電設備の設置によるエコスクール化の推進 《拡充》 7,106千円
 ＜太陽光発電設備整備事業費（小学校費・中学校費）＞ (7,106千円)

東京都の「再生可能エネルギー等導入推進基金事業補助金」を活用して、環境や防災に配慮した学校施設の整備と環境教育を推進する「エコスクール化」に取り組めます。平成27年度は、28年度の太陽光発電設備、蓄電池及び発電量モニターの設置に向けて、耐震診断及び実施設計を行います。

〔設置予定校〕

南浦小学校、第三中学校

－ サステナブル都市 －

【財源内訳】

都 支 出 金 3,476千円

一 般 財 源 3,630千円

社会教育費

- 1 古文書資料のデジタル化の実施 《新規》 5,309千円
 ＜歴史・民俗等文化財関係費＞ (5,309千円)

マイクロフィルム化して保存している三鷹吉野泰平家文書（14,500点）について、閲覧機器の老朽化により閲覧に支障をきたすことから、閲覧頻度の高い資料1,800点をデジタル化し、保存や活用、閲覧の効率性の向上を図ります。実施に当たっては、東京都の「人づくり・人材確保支援事業補助金」を活用します。

※ 三鷹吉野泰平家文書

江戸から明治にかけての三鷹や野崎地区の行政資料や、明治期の三多摩における自由民権運動指導者である吉野泰三に関わる資料など

－ 地域活性化 －

【財源内訳】

都 支 出 金 5,309千円

- 2 大沢二丁目古民家（仮称）の整備 3,150千円
 ＜大沢二丁目古民家（仮称）整備事業費＞ (3,150千円)

明治35年に創建された古民家について、昭和55年頃の改修後の状況に整備することを基本とする新たな方針を策定するとともに、エコミュージアムの拠点施設の一つとして整備するため、基本設計等に着手します。様々な体験学習や民具の展示を行うなど、地域文化財や地域観光の情報発信の拠点として整備し、三鷹型エコミュージアム事業を推進します。

・債務負担行為の設定

事 項 大沢二丁目古民家（仮称）設計業務委託事業

期 間 平成28年度

限度額 7,359千円

〔スケジュール〕

平成27年～28年度 基本設計、実施設計

平成29年度 整備工事、外構設計

平成30年度 外構工事、供用開始

－ 地域活性化 －

保健体育費

- 1 スポーツボランティア育成事業の実施 《新規》 30千円
 ＜生涯スポーツ指導者養成事業費＞ (60千円)

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会や新川防災公園・多機能複合施設（仮称）の完成を見据え、三鷹市のスポーツ活動を推進していくスポーツボランティアの育成を図るため、東京都の「スポーツ振興等事業費補助金」を活用し、スポーツボランティアに関する講習会を開催します。

【財源内訳】

都 支 出 金 30千円

- 2 障がい者のスポーツふれあい事業の実施 《新規》 600千円
 ＜地域スポーツクラブ育成事業費＞ (855千円)

近代五種の開催予定地である東京スタジアムから近い、東京大学の馬場（大沢地区）において、東京大学運動部馬術部及び地域スポーツクラブ等との連携により、障がいのあるかたが参加できる馬術のデモンストレーションや馬とのふれあい体験を実施します。事業実施に当たっては、東京都の「スポーツ振興等事業費補助金」を活用し、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の気運醸成とともに、次世代を担う三鷹の子どもたちに対してスポーツの普及啓発を図ります。

【財源内訳】

都 支 出 金 600千円

- 3 みたかスポーツフェスティバルの充実 《拡充》 200千円
 ＜市民体育祭関係費＞ (4,207千円)

10月に市民センター周辺等で開催する「みたかスポーツフェスティバル」について、講師を招いた親子で体験できる体操プログラムなど、内容を充実して実施し、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の気運醸成とともに、次世代を担う三鷹の子どもたちに対してスポーツの普及啓発を図ります。実施に当たっては、東京都の「スポーツ振興等事業費補助金」を活用します。

【財源内訳】

都 支 出 金 200千円

事業名＜事項名＞及び事業概要	補正予算額 (通年予算額)
----------------	------------------

- 4 中原スポーツ児童遊園の整備 《新規》 50,406千円
 ＜中原スポーツ児童遊園運営費、中原スポーツ児童遊園整備事業費＞ (50,406千円)

東京外かく環状道路事業の進捗に伴い、平成27年6月に北野高架下スポーツ広場の閉鎖を予定しており、その代替施設として、現在の中原交通児童遊園を改修し、野球やサッカーの利用が可能な中原スポーツ児童遊園として整備します。

〔施設概要〕

面積 1,318㎡

ダスト舗装、四方及び上部に防球ネットを設置

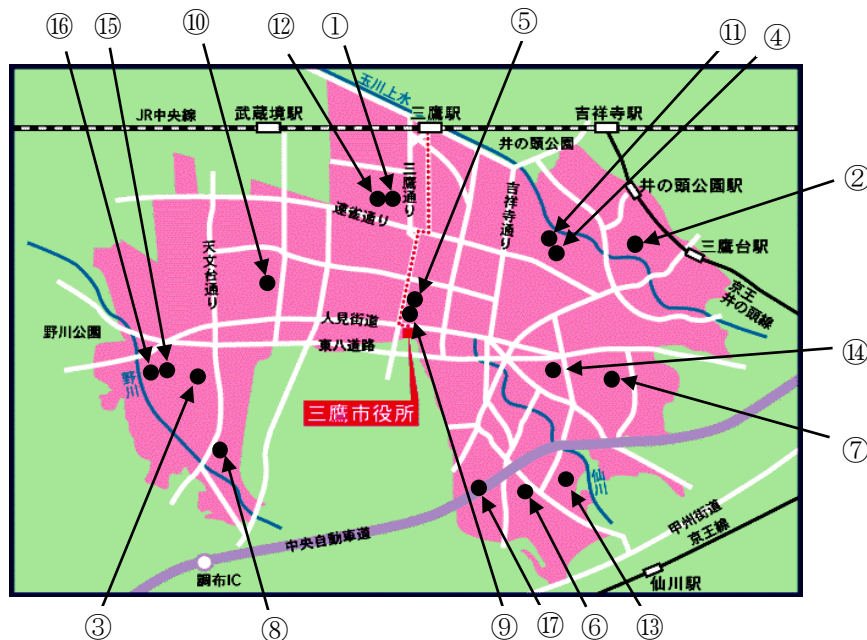
野球、サッカー等で使用

【財源内訳】

都支出金 26,000千円

一般財源 24,406千円

平成27年度に取り組む主な施設整備等



- ① 第三小学校 学校体育館の耐震補強の実施（工事）
通学路の安全確保の充実
- ② 第五小学校 通学路の安全確保の充実
- ③ 大沢台小学校 通学路の安全確保の充実
- ④ 高山小学校 学級数増への適切な対応と学校規模の適正化に向けた取り組み
（実施設計）
- ⑤ 南浦小学校 太陽光発電設備の設置によるエコスクール化の推進（実施設計）
- ⑥ 中原小学校 学校体育館の耐震補強の実施（工事）
学校校庭の芝生化の推進（工事）
- ⑦ 北野小学校 学校体育館の耐震補強の実施（工事）
- ⑧ 羽沢小学校 学校校庭の芝生化の推進（実施設計）
通学路の安全確保の充実
- ⑨ 第一中学校 中学校特別教室等の空調設備の整備（工事）
- ⑩ 第二中学校 中学校特別教室等の空調設備の整備（工事）
- ⑪ 第三中学校 太陽光発電設備の設置によるエコスクール化の推進（実施設計）
- ⑫ 第四中学校 中学校特別教室等の空調設備の整備（工事）
- ⑬ 第五中学校 中学校特別教室等の空調設備の整備（工事）
- ⑭ 第六中学校 学校体育館の耐震補強の実施（工事）
中学校特別教室等の空調設備の整備（工事）
- ⑮ 第七中学校 中学校特別教室等の空調設備の整備（工事）

事業名＜事項名＞及び事業概要	補正予算額 (通年予算額)
----------------	------------------

⑩ 大沢二丁目古民家（仮称）

大沢二丁目古民家（仮称）の整備（基本設計）

⑪ 中原スポーツ児童遊園

中原スポーツ児童遊園の整備（工事）

その他補正予算に計上した事業費

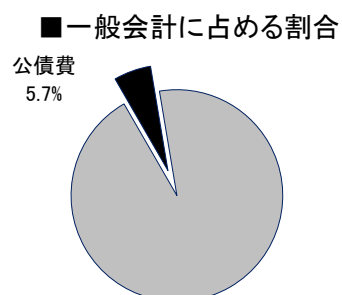
1 施設改修事業費（小学校費・中学校費）	81,187千円
2 体育施設改修事業費	4,296千円
3 三鷹市土地開発公社関係費	308,991千円
4 その他	20,347千円

※参考 当初予算に計上した特記事項

- 1 いじめ問題対策協議会の開催 480千円
 ＜いじめ問題対策協議会関係費＞
 「いじめ防止対策推進条例」に基づき設置した「いじめ問題対策協議会」で、
 いじめ防止対策を実効的に推進
－ 子ども・子育て支援 －
- 2 子どもの体力・運動能力向上事業の実施 1,500千円
 ＜子どもの体力・運動能力向上事業費＞
 東京都市長会の助成金を活用し、体育授業の中で競技の専門家による指導を実施
－ 子ども・子育て支援 －
- 3 私立幼稚園の新制度への円滑な移行 227,309千円
 ＜施設型給付関係費＞
 全16施設のうち7施設（幼稚園型認定こども園1施設含む）が、子ども・子育て
 て支援新制度の施設型給付の対象へ移行
－ 子ども・子育て支援 －

事業名＜事項名＞及び事業概要	補正予算額 (通年予算額)
4 学校体育館の耐震補強の実施 230,693千円 ＜耐震補強事業費（小学校費・中学校費）＞ 第三小学校、中原小学校、北野小学校、第六中学校で体育館の耐震補強工事を 実施し、三鷹市立全小・中学校施設の耐震化が完了 － 都市再生 － － 危機管理 －	
5 中学校特別教室等の空調設備の整備 101,301千円 ＜学校空調設備整備事業費（中学校費）＞ 一部未整備となっている61教室のうち、熱源を使用する理科室、家庭科室の17 教室を優先して整備を実施 － 子ども・子育て支援 －	
6 図書館システムの更新 84,434千円 ＜図書館システム関係費＞ 株式会社まちづくり三鷹と共同開発を行った新たな図書館システムのサービス を、平成27年9月から開始	
予算額内訳	
1 補正予算額 509,615千円	
2 当初予算額 6,202,929千円	
3 補正後予算額（1+2） 6,712,544千円	

第11款 公債費



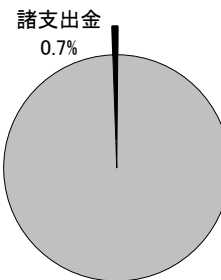
■予算額と財源構成

(単位 千円)

	予算額	財源構成			
		国・都支出金	市債	その他	一般財源
平成27年度（補正後予算額）	3,949,966	0	0	0	3,949,966
当初予算額	3,949,966	0	0	0	3,949,966
補正予算額	0	0	0	0	0
平成26年度	4,217,739	0	0	0	4,217,739
増 △減	△267,773	0	0	0	△267,773

第12款 諸支出金

■一般会計に占める割合



■予算額と財源構成

(単位 千円)

	予算額	国・都支出金	市債	その他	一般財源
平成27年度（補正後予算額）	481,845	0	0	300,000	181,845
当初予算額	71,607	0	0	0	71,607
補正予算額	410,238	0	0	300,000	110,238
平成26年度	88,104	0	0	0	88,104
増 △減	393,741	0	0	300,000	93,741

事業名＜事項名＞及び事業概要

補正予算額
(通年予算額)

普通財産取得費

1 三鷹消防署建替用地の取得

346,434千円

＜三鷹消防署建替用地取得事業費＞

(346,434千円)

三鷹消防署は竣工後46年以上が経過し老朽化が進んでいることから、東京都が建替を予定しています。建替に当たり、平成25年度に三鷹市土地開発公社が先行取得した用地を2か年で買い戻すこととし、これに係る用地取得費を計上します。

〔取得する用地〕

下連雀九丁目728番2ほか

1,962.42㎡（うち平成27年度取得分 953.56㎡）

－ 危機管理 －

【財源内訳】

繰入金 300,000千円

一般財源 46,434千円

事業名＜事項名＞及び事業概要	補正予算額 (通年予算額)
----------------	------------------

その他補正予算に計上した事業費

1 三鷹市土地開発公社関係費	63,804千円
----------------	----------

予算額内訳

1 補正予算額	410,238千円
2 当初予算額	71,607千円
3 補正後予算額（1+2）	481,845千円

特 別 会 計 予 算

I 国民健康保険事業特別会計

平成 27 年度の補正予算において歳入歳出それぞれ 206 万 9 千円を追加し、補正後の歳入歳出予算額は 206 億 1,274 万 3 千円となります。前年度の当初予算額と比較すると 29 億 8,779 万 6 千円（17.0%）の増となりました。

補正予算では、特定健康診査の結果に基づくフォローアップ事業の拡充を行うとともに、特定保健指導（継続支援分）の事業者見直しのための債務負担行為を設定します。

補正後の予算規模は、平成 27 年 4 月から財政運営の都道府県単位化を推進するため、保険財政共同安定化事業の対象が拡大されることから、歳入の『共同事業交付金』、歳出の『共同事業拠出金』がともに増となり、前年度を大きく上回るものとなっています。

このほか歳出では、全体の被保険者数は減少しているものの、1 人当たりの医療費が高い前期高齢者は増加傾向にあることなどから、『保険給付費』が 8,150 万 6 千円（0.7%）の増となっています。

歳入では、平成 26 年度末で退職者医療制度¹への新規加入を廃止することから、『療養給付費等交付金』が 2 億 6,371 万 1 千円（42.4%）の減となりました。

こうしたことから、法定繰入れを含む一般会計からの『繰入金』は 2 億 1,054 万 9 千円（7.4%）の増となりました。

¹ 被用者保険と国民健康保険との間の費用負担の不均衡を是正するため、被用者保険を辞めた人の医療費を被用者保険が負担する制度。満 65 歳未満で、厚生年金や各種共済組合の老齢年金などの受給権があり、その被保険者期間が 20 年以上または 40 歳以降 10 年以上ある人が対象となります。退職者医療制度は平成 19 年度末の制度廃止（平成 26 年度までは経過措置）に伴い、平成 26 年度末で新規加入を廃止します。なお、平成 27 年度以降は平成 26 年度時点での対象者が 65 歳になるまで制度を継続します。

(表 14) 国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算額対前年度比較表

(歳 入)

科 目	平成27年度		平成26年度		増 △減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	金 額	比 率
	千円	%	千円	%	千円	%
1. 国 民 健 康 保 険 税	3,951,197	19.2	4,026,207	22.9	△75,010	△1.9
2. 使用料及び手数料	27	0.0	9	0.0	18	200.0
3. 国 庫 支 出 金	3,687,997	17.9	3,615,950	20.5	72,047	2.0
4. 療養給付費等交付金	357,992	1.8	621,703	3.5	△263,711	△42.4
5. 前期高齢者交付金	3,419,209	16.6	3,298,265	18.7	120,944	3.7
6. 都 支 出 金	1,243,663	6.0	1,221,923	6.9	21,740	1.8
7. 共 同 事 業 交 付 金	4,851,413	23.5	1,951,807	11.1	2,899,606	148.6
8. 繰 入 金	3,073,178	14.9	2,862,629	16.2	210,549	7.4
9. 繰 越 金	2	0.0	2	0.0	0	0.0
10. 諸 収 入	28,065	0.1	26,452	0.2	1,613	6.1
合 計	20,612,743	100.0	17,624,947	100.0	2,987,796	17.0

(歳 出)

科 目	平成27年度		平成26年度		増 △減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	金 額	比 率
	千円	%	千円	%	千円	%
1. 総 務 費	259,519	1.3	264,699	1.5	△5,180	△2.0
2. 保 険 給 付 費	11,705,895	56.8	11,624,389	66.0	81,506	0.7
3. 後期高齢者支援金等	2,458,810	11.9	2,476,146	14.0	△17,336	△0.7
4. 前期高齢者納付金等	2,091	0.0	2,854	0.0	△763	△26.7
5. 老人保健拠出金	136	0.0	136	0.0	0	0.0
6. 介 護 納 付 金	1,012,748	4.9	1,092,733	6.2	△79,985	△7.3
7. 共 同 事 業 拠 出 金	4,935,291	24.0	1,930,165	11.0	3,005,126	155.7
8. 保 健 事 業 費	204,751	1.0	203,323	1.2	1,428	0.7
9. 諸 支 出 金	26,502	0.1	23,502	0.1	3,000	12.8
10. 予 備 費	7,000	0.0	7,000	0.0	0	0.0
合 計	20,612,743	100.0	17,624,947	100.0	2,987,796	17.0

Ⅱ 下水道事業特別会計

平成 27 年度の補正予算において歳入歳出それぞれ 3 億 186 万円を追加し、補正後の歳入歳出予算額は 37 億 6,359 万 3 千円となります。前年度の当初予算と比較すると 8,821 万 4 千円（2.4％）の増となりました。

補正予算では、下水道施設の耐震化や長寿命化などの投資的経費や、甲州街道付近の水害対策の検討などの新規事業に係る経費を計上します。

補正後の予算規模は、歳出の「総務費」が消費税率引き上げの影響による消費税納付額の増などにより 4,558 万 1 千円（9.4％）の増となるほか、「建設費」が都市型水害対策事業や地震対策事業、東部水再生センターの監視制御設備の更新などに取り組むことから 4,084 万 8 千円（5.5％）の増となり、前年度を上回るものとなっています。

このほか歳出では、『公債費』が平成 21 年度に借り入れた都市型水害対策などに係る市債の元金償還が始まることなどにより 2,367 万 7 千円（2.9％）の増となりました。

歳入では、平成 26 年 4 月に下水道使用料の改定を行ったものの、一般家庭での節水傾向の影響などもあり、『使用料及び手数料』が 9,684 万 5 千円（5.4％）の減となっています。

こうしたことから、一般会計からの『繰入金』は 1 億 5,611 万 6 千円（14.7％）の増となりました。

(表 15) 下水道事業特別会計歳入歳出予算額対前年度比較表

(歳 入)

科 目	平成27年度		平成26年度		増 △減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	金 額	比 率
	千円	%	千円	%	千円	%
1. 分 担 金 及 び 負 担 金	483	0. 0	456	0. 0	27	5. 9
2. 使 用 料 及 び 手 数 料	1, 703, 469	45. 3	1, 800, 314	49. 0	△96, 845	△5. 4
3. 国 庫 支 出 金	89, 749	2. 4	17, 136	0. 5	72, 613	423. 7
4. 都 支 出 金	4, 487	0. 1	856	0. 0	3, 631	424. 2
5. 繰 入 金	1, 217, 487	32. 4	1, 061, 371	28. 9	156, 116	14. 7
6. 繰 越 金	1	0. 0	1	0. 0	0	0. 0
7. 諸 収 入	110, 717	2. 9	96, 045	2. 6	14, 672	15. 3
8. 市 債	637, 200	16. 9	699, 200	19. 0	△62, 000	△8. 9
合 計	3, 763, 593	100. 0	3, 675, 379	100. 0	88, 214	2. 4

(歳 出)

科 目	平成27年度		平成26年度		増 △減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	金 額	比 率
	千円	%	千円	%	千円	%
1. 下 水 道 事 業 費	2, 926, 269	77. 7	2, 861, 732	77. 9	64, 537	2. 3
1. 総 務 費	531, 852	14. 1	486, 271	13. 2	45, 581	9. 4
2. 維 持 管 理 費	1, 607, 520	42. 7	1, 629, 412	44. 4	△21, 892	△1. 3
3. 建 設 費	786, 897	20. 9	746, 049	20. 3	40, 848	5. 5
2. 公 債 費	834, 324	22. 2	810, 647	22. 0	23, 677	2. 9
3. 予 備 費	3, 000	0. 1	3, 000	0. 1	0	0. 0
合 計	3, 763, 593	100. 0	3, 675, 379	100. 0	88, 214	2. 4

Ⅲ 介護サービス事業特別会計

平成 27 年度の補正予算において歳入歳出それぞれ 1,411 万 6 千円を追加し、補正後の歳入歳出予算額は 10 億 6,615 万 3 千円となります。前年度の当初予算額と比較すると 3,362 万 6 千円（3.1％）の減となりました。

補正予算では、当初予算編成後に処遇改善加算について国から詳細が示され、当初予算の見込みを上回ることとなったため、各施設の指定管理料と関連する歳入を増額し、介護職員の賃金改善と資質の向上や職場環境の改善を図ります。

補正後の予算規模は、歳出の『公債費』が平成 6 年度に借り入れた特別養護老人ホーム整備事業債の償還終了などにより 4,930 万 1 千円（33.5％）の減となっています。

歳入では、介護報酬改定の影響があるものの、処遇改善加算の加算率の増などにより『介護サービス収入』が 1,055 万 5 千円（1.5％）の増となっています。

こうしたことから、一般会計からの『繰入金』は 4,513 万 8 千円（15.3％）の減となっています。

(表 16) 介護サービス事業特別会計歳入歳出予算額対前年度比較表

(歳 入)

科 目	平成27年度		平成26年度		増 減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	金 額	比 率
	千円	%	千円	%	千円	%
1. 介護サービス収入	719,115	67.5	708,560	64.4	10,555	1.5
2. 使用料及び手数料	33,910	3.2	33,108	3.0	802	2.4
3. 繰入金	250,823	23.5	295,961	26.9	△45,138	△15.3
4. 繰越金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
5. 諸収入	62,304	5.8	62,149	5.7	155	0.2
合 計	1,066,153	100.0	1,099,779	100.0	△33,626	△3.1

(歳 出)

科 目	平成27年度		平成26年度		増 減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	金 額	比 率
	千円	%	千円	%	千円	%
1. 介護サービス事業費	965,426	90.5	949,751	86.3	15,675	1.7
1. 高齢者センター けやき苑運営費	172,237	16.1	167,703	15.2	4,534	2.7
2. 特別養護老人ホーム どんぐり山運営費	392,614	36.8	386,969	35.2	5,645	1.5
3. 牟礼老人保健 施設運営費	400,575	37.6	395,079	35.9	5,496	1.4
2. 公債費	97,727	9.2	147,028	13.4	△49,301	△33.5
3. 予備費	3,000	0.3	3,000	0.3	0	0.0
合 計	1,066,153	100.0	1,099,779	100.0	△33,626	△3.1

IV 介護保険事業特別会計

平成 27 年度の補正予算において歳入歳出それぞれ 3,614 万 7 千円を追加し、補正後の歳入歳出予算額は 114 億 9,000 万 8 千円で、前年度の当初予算額と比較すると 2 億 584 万 6 千円（1.8％）の減となりました。

平成 27 年度は、「第六期介護保険事業計画」の 1 年目として、三鷹市における「地域包括ケアシステム」の実現に向けた取り組みを進めます。

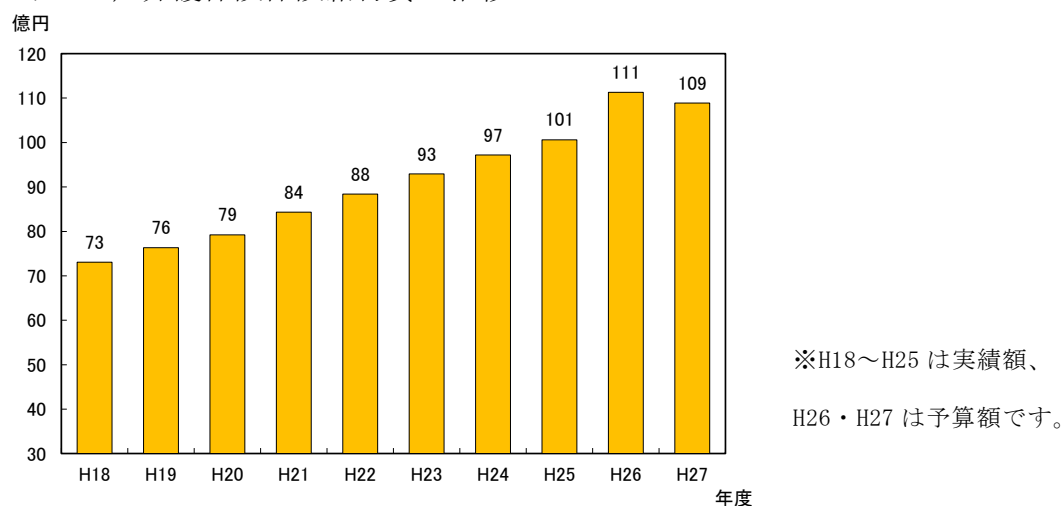
補正予算では、地域で高齢者を支えるための施策の一環として、地域包括支援センターの機能強化や生活支援コーディネーターのモデル配置、「地域包括ケア会議（三鷹版地域ケア会議）」の市内全域での実施に係る経費を計上します。

補正後の予算規模は、歳出の『保険給付費』が介護報酬改定の影響などにより前年度比 2 億 4,382 万 4 千円（2.2％）の減となったことなどから、前年度を下回るものとなっています。

歳入では、「第六期介護保険事業計画」期間全体での給付費を算出の基礎として、第 1 号被保険者の保険料の負担割合の見直しも反映したことから、『保険料』が前年度比 3 億 1,558 万 7 千円（14.1％）の増となっています。

『繰入金』のうち、「基金繰入金」を除く「一般会計繰入金」については、歳出の『保険給付費』の減に伴い、市の法定負担である介護給付費繰入金が減となることなどから、1,081 万 2 千円（0.6％）の減となっています。

（グラフ 8）介護保険保険給付費の推移



(表 17) 介護保険事業特別会計歳入歳出予算額対前年度比較表

(歳 入)

科 目	平成27年度		平成26年度		増 △減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	金 額	比 率
	千円	%	千円	%	千円	%
1. 保 険 料	2,557,092	22.3	2,241,505	19.2	315,587	14.1
2. 国 庫 支 出 金	2,559,724	22.3	2,594,358	22.2	△34,634	△1.3
3. 支 払 基 金 交 付 金	3,070,319	26.7	3,251,195	27.8	△180,876	△5.6
4. 都 支 出 金	1,574,702	13.7	1,619,341	13.8	△44,639	△2.8
5. 財 産 収 入	491	0.0	449	0.0	42	9.4
6. 繰 入 金	1,726,275	15.0	1,987,610	17.0	△261,335	△13.1
7. 繰 越 金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
8. 諸 収 入	1,404	0.0	1,395	0.0	9	0.6
合 計	11,490,008	100.0	11,695,854	100.0	△205,846	△1.8

(歳 出)

科 目	平成27年度		平成26年度		増 △減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	金 額	比 率
	千円	%	千円	%	千円	%
1. 総 務 費	285,954	2.5	281,789	2.4	4,165	1.5
2. 保 険 給 付 費	10,898,276	94.9	11,142,100	95.3	△243,824	△2.2
3. 地 域 支 援 事 業 費	298,483	2.6	264,912	2.3	33,571	12.7
1. 介 護 予 防 事 業 費	68,246	0.6	70,018	0.6	△1,772	△2.5
2. 包 括 的 支 援 事 業 ・ 任 意 事 業 費	230,237	2.0	194,894	1.7	35,343	18.1
4. 基 金 積 立 金	492	0.0	450	0.0	42	9.3
5. 諸 支 出 金	3,803	0.0	3,603	0.0	200	5.6
6. 予 備 費	3,000	0.0	3,000	0.0	0	0.0
合 計	11,490,008	100.0	11,695,854	100.0	△205,846	△1.8

V 後期高齢者医療特別会計

(表 18) 後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算額対前年度比較表

(歳 入)

科 目	平成27年度		平成26年度		増 △減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	金 額	比 率
	千円	%	千円	%	千円	%
1. 後 期 高 齢 者 医 療 保 険 料	2,027,177	53.5	1,983,538	53.6	43,639	2.2
2. 使用料及び手数料	1	0.0	1	0.0	0	0.0
3. 繰 入 金	1,639,117	43.3	1,596,232	43.2	42,885	2.7
4. 繰 越 金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
5. 諸 収 入	120,591	3.2	117,088	3.2	3,503	3.0
合 計	3,786,887	100.0	3,696,860	100.0	90,027	2.4

(歳 出)

科 目	平成27年度		平成26年度		増 △減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	金 額	比 率
	千円	%	千円	%	千円	%
1. 総 務 費	96,799	2.6	100,833	2.7	△4,034	△4.0
2. 広域連合納付金	3,576,452	94.4	3,483,060	94.2	93,392	2.7
3. 保健事業費	106,136	2.8	103,967	2.8	2,169	2.1
4. 諸 支 出 金	4,500	0.1	6,000	0.2	△1,500	△25.0
5. 予 備 費	3,000	0.1	3,000	0.1	0	0.0
合 計	3,786,887	100.0	3,696,860	100.0	90,027	2.4

VI 主要事業の概要

※当初予算額に補正予算額を加えたものを
通年予算額として記載しています。

※特定財源がある事務事業についてののみ
【財源内訳】欄を設けています。なお、
金額は、補正額のみを記述しています。

事業名＜事項名＞及び事業概要	補正予算額 (通年予算額)
----------------	------------------

国民健康保険事業特別会計

- | | | |
|--------------------|------|-------------|
| 1 特定健康診査・特定保健指導の推進 | 《拡充》 | 2,069千円 |
| ＜特定健康診査等事業費＞ | | (197,181千円) |

平成24年度に策定した「第二期特定健康診査等実施計画」（平成25～29年度の5か年計画）を踏まえ、引き続き特定健康診査及び特定保健指導の着実な推進を図ります。

また、平成26年度から開始した「特定健康診査結果が一定の基準を超えた受診者へのフォローアップ事業」について、前年度より回数・対象者を拡充して取り組みます。

なお、特定保健指導事業（継続支援分）について、平成28年度に向けて事業者選定を行うため、債務負担行為を設定します。

〔フォローアップ事業の概要〕

- ・回数 年6回（平成26年度は年3回）
- ・対象者 血糖などの値が保健指導レベルで特定保健指導対象外の受診者（平成26年度は、要医療（受診勧奨）レベルの受診者で実施）
- ・内容 血流測定と管理栄養士による特定健康診査結果の個別説明と生活習慣指導を行う。

〔債務負担行為の設定〕

事項 特定保健指導業務委託事業

期間 平成28年度

限度額 7,436千円

－ 健康長寿社会 －

【財源内訳】

国庫支出金 2,069千円

事業名＜事項名＞及び事業概要	補正予算額 (通年予算額)
----------------	------------------

※参考 当初予算に計上した特記事項

- | | |
|---|-------------|
| 1 国民健康保険税の軽減措置の拡大 | 6,644千円 |
| ＜一般会計繰入金（保険基盤安定繰入金（保険税軽減分））＞ | |
| 低所得者世帯に対する国民健康保険税均等割額の軽減措置の対象者を拡大
（課税限度額については現行のとおり） | |
| 2 保険財政共同安定化事業の拡大 | 4,472,498千円 |
| ＜保険財政共同安定化事業拠出金＞ | |
| 財政運営の都道府県単位化を推進するため事業対象をすべての医療費に拡大
（平成26年度までは30万円を超える医療費が対象） | |

予算額内訳

- | | |
|---------------|--------------|
| 1 補正予算額 | 2,069千円 |
| 2 当初予算額 | 20,610,674千円 |
| 3 補正後予算額（1+2） | 20,612,743千円 |

事業名＜事項名＞及び事業概要	補正予算額 (通年予算額)
----------------	------------------

下水道事業特別会計

1 都市型水害対策の推進 4,320千円 ＜都市型水害対策事業費＞ (60,437千円)

甲州街道付近の水害対策について、調布市等と具体的な対策案の検討を行います。

〔補正予算（通年予算）の内訳〕

雨水貯留管等整備工事	-	(56,117千円)
甲州街道付近の水害対策の検討	4,320千円	(4,320千円)
	-	都市再生 -
	-	危機管理 -

2 下水道地震対策整備の推進 60,941千円 ＜下水道地震対策整備事業費、東部水再生センター施設改良事業費、井の頭ポンプ場施設改良事業費＞ (81,785千円)

災害時等における下水道施設の機能確保を図るため、「下水道再生計画」に基づき、防災拠点周辺の下水道施設の耐震化を推進します。

また、井の頭ポンプ場臭突塔の耐震補強工事などに取り組みます。

〔補正予算（通年予算）の内訳〕

下水道管路の耐震化工事等（井口コミュニティ・センター、大沢コミュニティ・センター）	45,821千円	(45,821千円)
東部水再生センター電気棟・汚泥棟の耐震化に向けた実施設計	-	(20,844千円)
東部水再生センター地震対策事業における実施計画の変更	7,560千円	(7,560千円)
井の頭ポンプ場臭突塔等の耐震補強工事	7,560千円	(7,560千円)
	-	都市再生 -
	-	危機管理 -

【財源内訳】

国庫支出金	6,300千円	都支出金	315千円
諸収入	2,171千円	市債	45,800千円
一般財源	6,355千円		

事業名＜事項名＞及び事業概要	補正予算額 (通年予算額)
----------------	------------------

3 下水道施設の長寿命化の推進 9,515千円

＜下水道長寿命化事業費、東部水再生センター施設改良事業費＞ (295,753千円)

「下水道再生計画」に基づき、下水道施設の長寿命化を推進します。

管渠については、平成26年度に実施した詳細調査（TVカメラ調査等）の結果に基づき、28～32年度の5年間の工事に向けた実施設計を行います。

〔補正予算（通年予算）の内訳〕

下水道管渠の長寿命化に向けた実施設計 9,515千円 (9,515千円)

東部水再生センター受変電施設等監視制御設備更新工事 - (286,238千円)

－ 都市再生 －

－ 危機管理 －

【財源内訳】

市 債 9,500千円

一 般 財 源 15千円

その他補正予算に計上した事業費

1 下水道管渠維持関係費	61,330千円
2 区域内管渠等整備工事費	119,171千円
3 都道整備に係る下水道建設事業費	36,884千円
4 合流式下水道改善事業費	9,699千円

予算額内訳

1 補正予算額	301,860千円
2 当初予算額	3,461,733千円
3 補正後予算額（1+2）	3,763,593千円

介護保険事業特別会計

1 地域包括支援センターの機能強化

《拡充》 31,500千円

＜地域包括支援センター運営費＞ (31,500千円)

相談業務の多様化や複雑化に対応するため、各地域包括支援センターにおいて専門職員を1人増員し、地域包括支援センターの機能強化を図り、地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進めます。

－ コミュニティ創生 －
－ 健康長寿社会 －

【財源内訳】

国庫支出金	12,285千円	都支出金	6,143千円
繰入金	6,929千円	一般財源	6,143千円

2 地域包括ケア会議の全市展開

《拡充》 647千円

＜地域包括ケア会議関係費＞ (647千円)

地域包括ケアシステムの構築に向け、平成26年度に駅周辺及び西部地区地域包括支援センターにおいてモデル的に実施した「地域包括ケア会議（三鷹版地域ケア会議）」の全市展開を図ります。実施に当たっては、モデル事業の成果を踏まえ、多職種が連携して個別困難事例等の課題解決に取り組めます。

－ コミュニティ創生 －
－ 健康長寿社会 －

【財源内訳】

国庫支出金	252千円	都支出金	126千円
繰入金	143千円	一般財源	126千円

■地域包括ケア会議（三鷹駅周辺地域包括支援センター）



事業名＜事項名＞及び事業概要	補正予算額 (通年予算額)
----------------	------------------

- 3 生活支援コーディネーターの配置 《新規》 4,000千円
 ＜生活支援体制整備事業費＞ (4,000千円)

地域包括ケアシステムの構築に向け、地域包括支援センター及び社会福祉協議会と連携して、ボランティアやNPOなどの地域の多様な主体による生活支援サービスを展開するため、その仕組みづくりを担う「生活支援コーディネーター」を配置します。なお、平成27年度は市内2箇所の地域においてモデル的に実施します。

－ コミュニティ創生 －
 － 健康長寿社会 －

【財源内訳】

国庫支出金	1,560千円	都支出金	780千円
繰入金	880千円	一般財源	780千円

※参考 当初予算に計上した特記事項

1 第六期介護保険事業計画の推進

平成26年度に策定した「第六期介護保険事業計画」（計画期間：平成27年度～29年度）に基づき、介護保険事業を推進

- (1) 保険料（月額基準額）の改定：5,000円 → 5,500円
 (2) 低所得者に対しての保険料軽減措置を強化

－ 健康長寿社会 －

予算額内訳

- 1 補正予算額 36,147千円
 2 当初予算額 11,453,861千円
 3 補正後予算額（1+2） 11,490,008千円

平成 27 年 6 月

平成 27 年度

施 政 方 針

予 算 概 要

発 行	三鷹市
作 成	三鷹市企画部財政課
	三鷹市野崎一丁目 1 番 1 号
電 話	0422-45-1151 内線 2122～2128

この冊子は庁内で印刷・製本しています。